

非営利・公共経営研究 調査研究シリーズ No.34

# 新たな資金調達手段と評価ニーズに関する 全国NPO・ソーシャルビジネス調査

調査結果報告書



非営利・公共経営研究 調査研究シリーズ No.34

# 新たな資金調達手段と評価ニーズに関する 全国NPO・ソーシャルビジネス調査

調査結果報告書





刊行に寄せて

明治大学非営利・公共経営研究所（研究代表 塚本一郎 経営学部教授）では、「社会的インパクト投資を活用した社会的企業による公共サービス改善効果に関する研究」が、2014年4月より文部科学省「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」に採択され、2018年度までの5年間、日本、英国、米国におけるソーシャルインパクト・ボンド（social impact bond : SIB）をはじめとする社会的インパクト投資に関する国際比較研究に取り組むこととなっている。

近年、社会的インパクト投資に関する関心と期待が世界的に高まっているが、日本でも同様の傾向がみられる。特にSIBに対する関心が高いようである。とりわけ英国ではすでに、30件以上のSIBが組成され、内閣府のみならず、雇用年金省、保健省なども、財政支出の適正化、アウトカムベースの公契約の推進、すなわち、Payment by Results (PbR)の一環として、SIBを強力に推進している。

SIBとは、予防的・介入的な社会的プログラム（例：生活保護者の自立支援、貧困家庭の子どもの学習支援、高齢者の介護予防支援等）の運営資金を、公費（税金）からではなく、民間投資家から調達し、NPO等が提供するサービスを通じて社会的成果（アウトカム）を向上させる官民連携スキームである。社会的アウトカムの向上を通じて、財政コストの削減も企図している。寄付や助成と異なり、投資の仕組みを活用するため、予め約定されたアウトカム水準が達成できた場合、政府や自治体はその成果に応じて、投資家に対してリターンを支払うことになる。期待された成果が上がらない場合、投資家は元本も含め、すべての投資資金を失うリスクを負う（SIBのリスクモデルの設計によるが）。SIBは、いわば政府が従来負っていたリスクを投資家に転嫁する仕組みである。2015年ごろから、日本国内でもSIBの実証事件と称するパイロット事業が一部の民間財団主導で開始されているが、SIB契約の重要な構成要素であるアウトカムメトリックス（評価指標等）の設計が余りにも粗く、介入と成果との因果関係の説明には程遠いのが現状である。また設計や運営面での政府サイドの関与も弱いことから、海外の水準から照らしてもSIBの実証実験とはみなしがたいものである。

本アンケート調査は、以上のような現状を踏まえ、全国の5,000団体以上の特定非営利活動法人与ソーシャルビジネス（株式会社を含む）を対象に、様々な地域で、社会課題の解決や公共サービスを担っている団体の組織・事業・資金調達の実態、委託・補助・寄付等に加えて新しい資金調達手段として世界的に注目されるSIBへのニーズ、SIB活用と関連して、事業評価の実施状況やニーズなどについて把握することを目的とした。

ご多忙中、アンケートにご協力いただいた皆様方には、この場を借りて、厚く御礼申し上げます。また、調査報告書の刊行が遅れましたことを深くお詫びいたします。

2017年1月31日

研究代表 塚本一郎（明治大学経営学部教授）



# 目 次

---

|            |       |
|------------|-------|
| 調査概要       | P. 5  |
| 調査結果の要約    | P. 8  |
| 回答団体プロフィール | P. 13 |
| 各問詳細篇      | P. 19 |
| 簡易分析篇      | P. 39 |
| 参考資料       | P. 49 |



# 調査概要



# 調査概要

- ✓ **全国の特特定非営利活動法人 :**  
**5,000団体\***

(内閣府NPO法人情報ポータル内の48,428団体から  
無作為抽出)

- ✓ **ソーシャルビジネス : 168団体**

(経済産業省のソーシャルビジネスケースブック、ソーシャルビ  
ジネス55選の掲載団体、幣団体で独自にリストアップした団体)

明治大学  
非営利・公共経営研究所

到達数 : 4,536  
回収数 : 675 (回収率:14.9%)



紙面郵送調査 (標本調査)

株式会社ネオマーケティング  
※実査のみ担当

2016年1月～2月

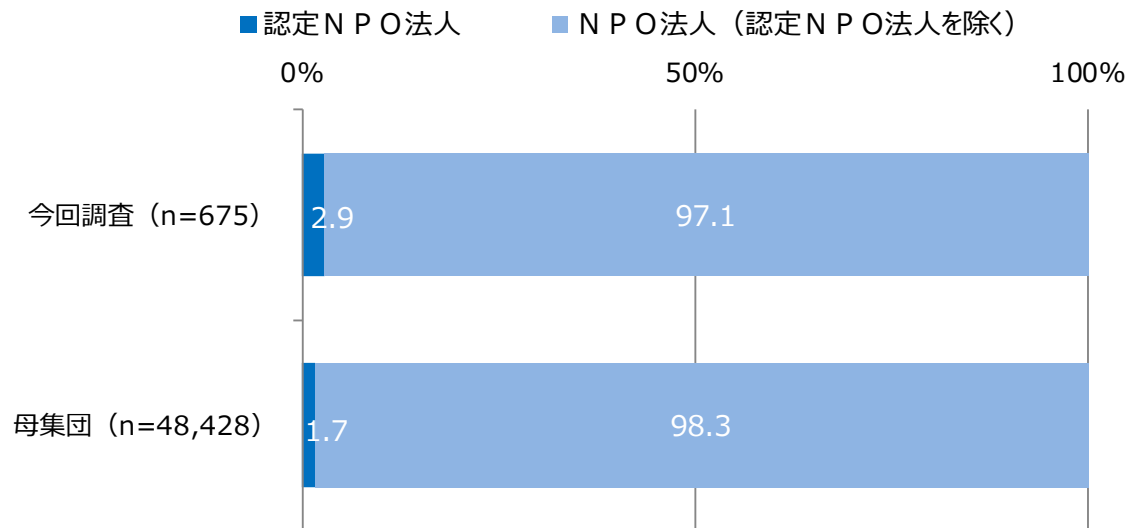
# 特定非営利活動法人 全体値の算出方法について

特定非営利活動法人の全体値が母集団を代表する値となるように、母集団における認定NPO法人・NPO法人（認定NPO法人を除く）の構成比に、今回調査で回収された法人の構成比を合わせるウェイトバック集計を実施した。

以降のページの特定非営利活動法人の全体値は、ウェイトバック後の値を使用。

ただし、各分析軸内（認定NPO法人・NPO法人）では、ウェイトバック前の値を使用。

母集団のソース：平成28年07月時点での内閣府 NPO法人情報ポータル



今回調査で回収された認定NPO法人・NPO法人（認定NPO法人を除く）の構成比を、母集団の構成比に合わせた値で、全体値を算出。

| ウェイト値    |                   |
|----------|-------------------|
| 認定NPO法人  | NPO法人（認定NPO法人を除く） |
| 0.583155 | 1.012356          |

# 調査結果の要約

## 特定非営利活動法人の資金調達 状況・SIB※<sup>1</sup>に対する態度・事業 評価の実施状況について

※1 以下、本報告書においては、ソーシャルインパクト・ボンド＝SIB、ソーシャルビジネス＝SBと省略して記載する。  
※本サマリーの全体値は、特定非営利活動法人全体（認定NPO法人・NPO法人）であり、株式会社やその他の法人は含まれない。

## 行政からの委託事業の受託経験

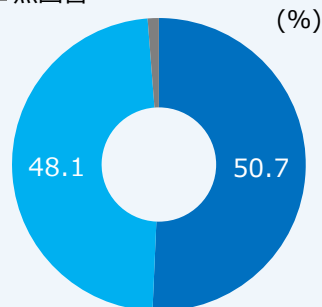


- 行政からの委託事業の受託経験がある特定非営利活動法人は、全体の**51%**。
- 「**委託金額の低さ**」「**契約期間が限定的であること**」「**手続きに係る事務処理**」などが主な委託事業における課題とみなされている。



### 受託経験の有無

■ 受託経験あり ■ 受託経験なし  
■ 無回答



(特定非営利活動法人全体：n=660)



### 委託における課題



受託経験あり  
ベース  
(n=335)

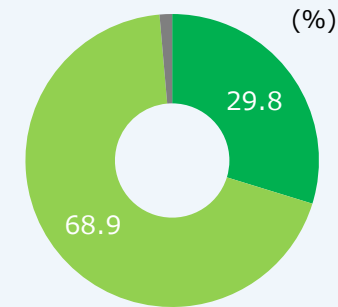
- 1 委託金額が必要な額に比べて低い (41%)
- 2 契約期間が単年度又は限定的 (38%)
- 3 手続きに係る事務処理が煩雑 (33%)
- 4 契約更新が保証されないので  
スタッフの長期雇用が困難 (30%)
- 5 資金の使途についての制約が多い (26%)

## 資金の借入経験の有無



- 金融機関等からの資金の借入経験のある特定非営利活動法人は、全体の**30%**。

■ 借入経験あり ■ 借入経験なし  
■ 無回答



(特定非営利活動法人全体：n=660)

## 新規事業の開始や事業の拡大の際に最も重要だった資金源・今後最も活用したい資金源

### 最も重要だった 資金源

(特定非営利活動法人全体：n=660)

会費・寄付金 (17.7%)

自主事業で得た資金 (17.1%)

行政からの補助金・助成金 (11.1%)

行政からの委託事業・指定管理事業  
から得た資金 (10.0%)

認可事業で得た資金 (7.9%)

### 今後最も活用したい 資金源

自主事業で得た資金 (17.9%)

会費・寄付金 (14.2%)

行政からの補助金・助成金 (13.4%)

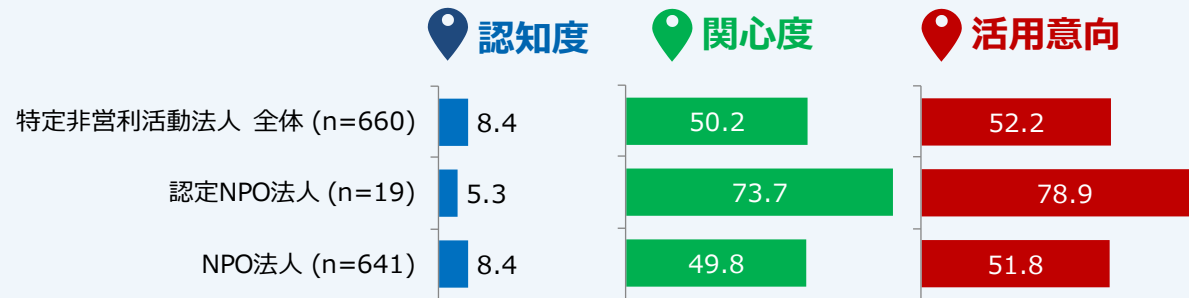
行政からの委託事業・指定管理事業  
から得た資金 (9.3%)

民間からの補助金・助成金 (9.0%)



- 最も重要だった資金源と今後最も活用したい資金源は、「**会費・寄付金**」「**自主事業で得た資金**」「**行政からの補助金・助成金**」などが共に上位にあがる。
- ただし、最も重要だった資金では「**会費・寄付金**」が18%であったが、今後最も活用したい資金源では**14%とやや比率が低下している**。
- また、最も重要な資金では「**行政からの補助金・助成金**」が11%であったが、今後最も活用したい資金では**13%と僅かに上昇している**。

## SIBの認知度・関心度・活用意向



認知度は低いですが、関心・活用意向は高い。

- ・ SIBの認知度は全体で8%
- ・ 関心度・活用意向がともに50%を超える

特に、認定NPO法人の関心・活用意向が高い。

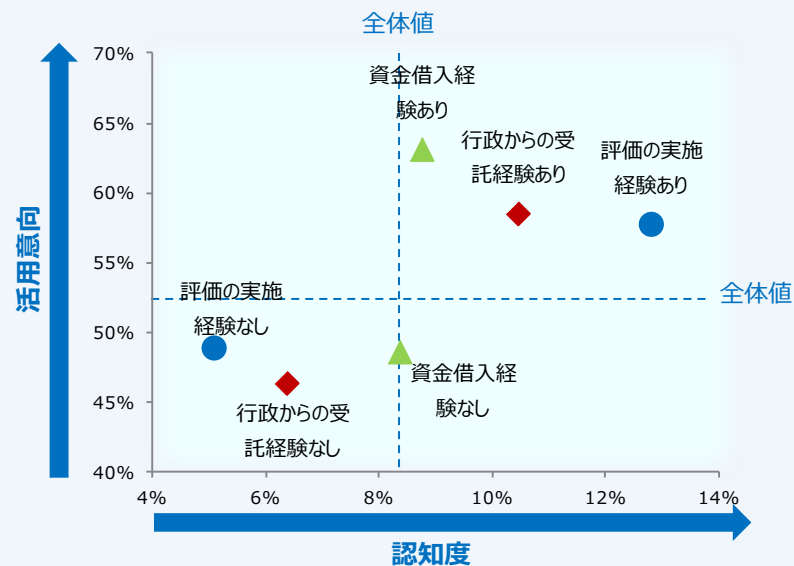
## SIBの認知度・活用意向の高い団体の特徴

- ・ 行政からの委託事業の受託経験のある団体
  - ・ 事業の評価実施経験がある団体
  - ・ 金融機関等からの資金の借入経験がある団体
- では、認知度・活用意向が高い。

- ・ 子どもの健全育成
- ・ まちづくりの推進

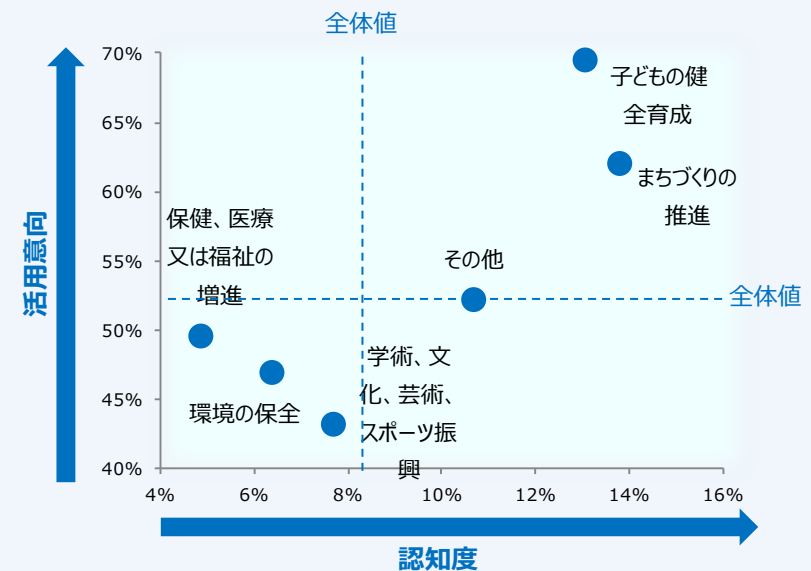
を主な活動分野とするNPOでは、認知度・活用意向が高い。

### 行政からの受託経験・事業の評価実施経験・資金借入経験別



N数は各n=30以上

### 事業分野別

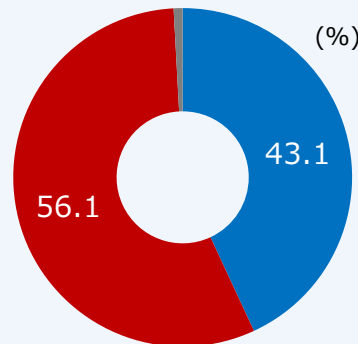


## 事業評価の実施有無・評価における課題

評価の実施経験のある特定非営利活動法人は、全体の**43%**。

### 評価実施有無

■ 実施団体 ■ 非実施団体 ■ 無回答



(特定非営利活動法人全体：n=660)

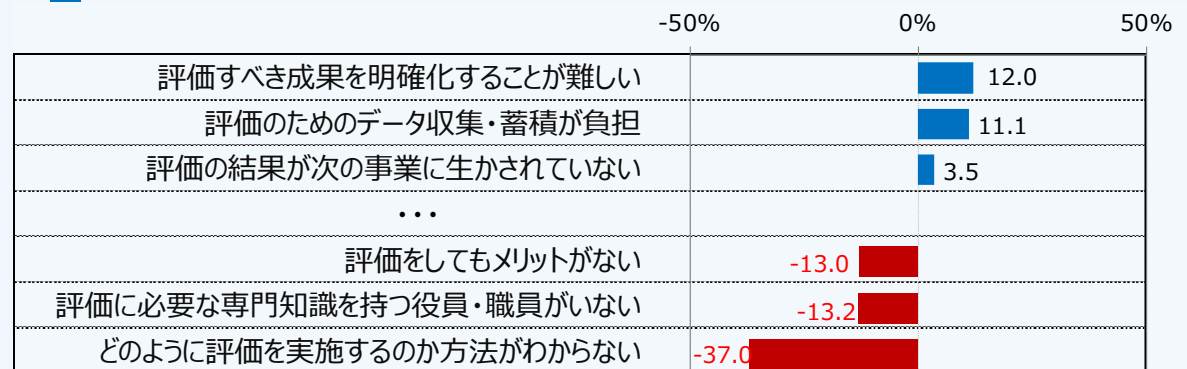
評価の非実施団体では、実施団体に比べて**「どのように評価をするのかわからない」「専門知識をもつ職員がいない」**と回答した団体比率が高い。  
さらに、**「評価をしてもメリットがない」**という声も多い。

### 評価実施における課題（評価の実施有無別）

※ 棒グラフは、評価実施団体と非実施団体のスコアの差を表す（実施団体：n=284／非実施団体：n=370）

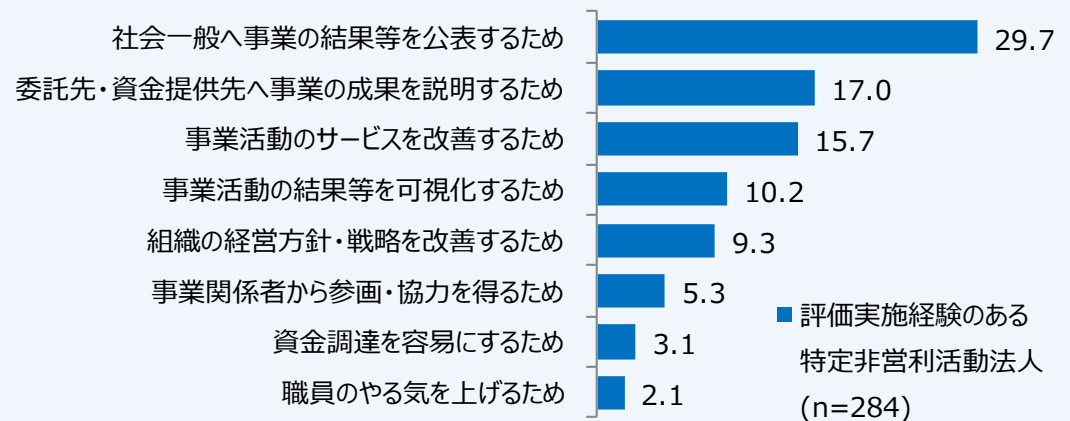
■ 実施団体が非実施団体よりスコアが高い項目

■ 非実施団体が実施団体よりスコアが高い項目



## 事業評価の最も重要な目的

- 評価の実施団体のうち、30%が**社会一般への事業の結果等を公表すること**が評価の最重要目的と回答。
- 以下、15%程度が**委託先・資金提供先への事業成果の説明**  
**事業活動のサービスの改善**が最重要目的と回答。



## 評価のために収集する情報（評価実施の最重要目的別）

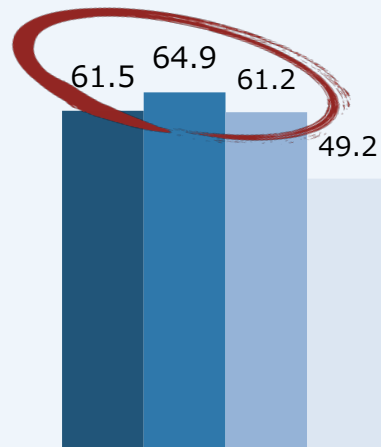
「委託先や資金提供先に事業活動の成果を説明すること」を評価の最重要目的としている団体は、全体平均と比べて、**インプット、アクティビティ、アウトプット、アウトカム**のすべてにおいて当該情報を把握している団体比率が高い。

また、**評価の実施目的によって、評価のために収集する情報の傾向に違いがみられる。**

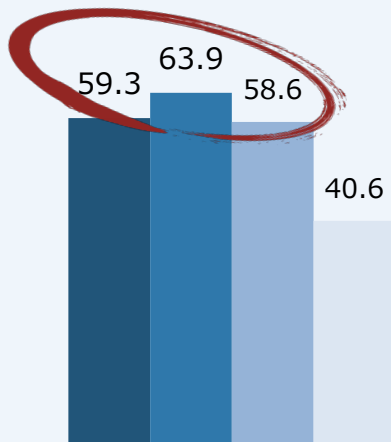
- 事業に投入した資源（インプット）
- 事業の対象者の数（アウトプット）

- 事業の回数・規模・内容・タイミング（アクティビティ）
- 事業により対象者に生じた変化（アウトカム）

特定非営利活動法人  
全体値

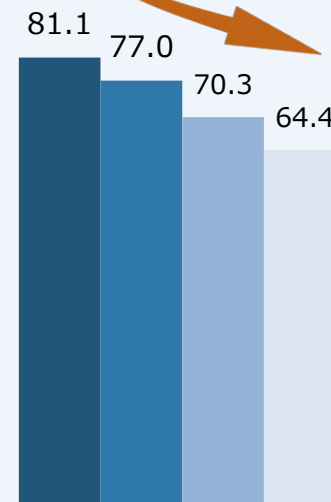


特定非営利活動法人  
全体平均  
(n=284)

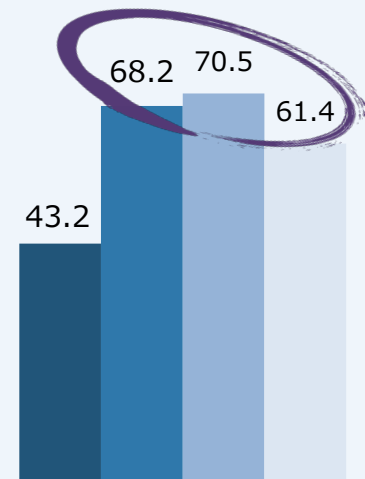


社会一般に事業活動の結果や効果を公表するため  
(n=84)

評価実施の最重要目的別



委託先や外部資金提供先に事業活動の成果を説明するため  
(n=48)



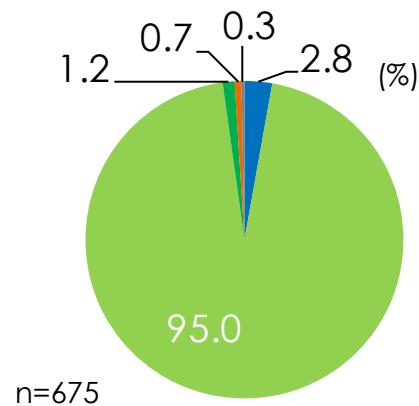
事業活動で提供しているサービスを改善するため  
(n=45)

# 回答団体 プロフィール



# 法人形態／設立年数

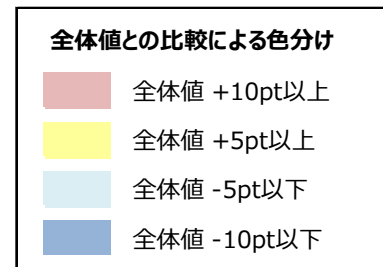
## 法人形態



※「認定NPO法人」と回答した団体のうち、実際は認定を受けていない団体が一定数みられた。そのため、弊団体で内閣府データベースと照合し、認定の確認ができた法人のみ、認定NPO法人に含めた。

- 認定NPO法人
- NPO法人（認定NPO法人を除く）
- 株式会社
- その他（社団・財団法人／任意団体など）
- 無回答

## 設立年数



|                     |     | 特定非営利活動法人 全体 |           |           |           |           |           |           |           |           |            |       |      |
|---------------------|-----|--------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|-------|------|
|                     |     | 1年未満         | 未1年以上2年未満 | 未2年以上3年未満 | 未3年以上4年未満 | 未4年以上5年未満 | 未5年以上6年未満 | 未6年以上7年未満 | 未7年以上8年未満 | 未8年以上9年未満 | 未9年以上10年未満 | 10年以上 | 無回答  |
| 特定非営利活動法人 全体        | 660 | 0.2          | 1.2       | 5.5       | 7.1       | 9.0       | 5.5       | 5.5       | 7.1       | 6.7       | 11.7       | 40.2  | 0.2  |
| 認定NPO法人             | 19  | 0            | 0         | 0         | 5.3       | 0         | 0         | 5.3       | 5.3       | 0         | 10.5       | 73.7  | 0    |
| NPO法人（認定NPO法人を除く）   | 641 | 0.2          | 1.2       | 5.6       | 7.2       | 9.2       | 5.6       | 5.5       | 7.2       | 6.9       | 11.7       | 39.6  | 0.2  |
| 株式会社                | 8   | 0            | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         | 25.0      | 0         | 12.5       | 62.5  | 0    |
| その他（社団・財団法人／任意団体など） | 7   | 14.3         | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         | 14.3      | 0          | 57.1  | 14.3 |

※ n=30未満の軸は参考値とし、灰色で表示

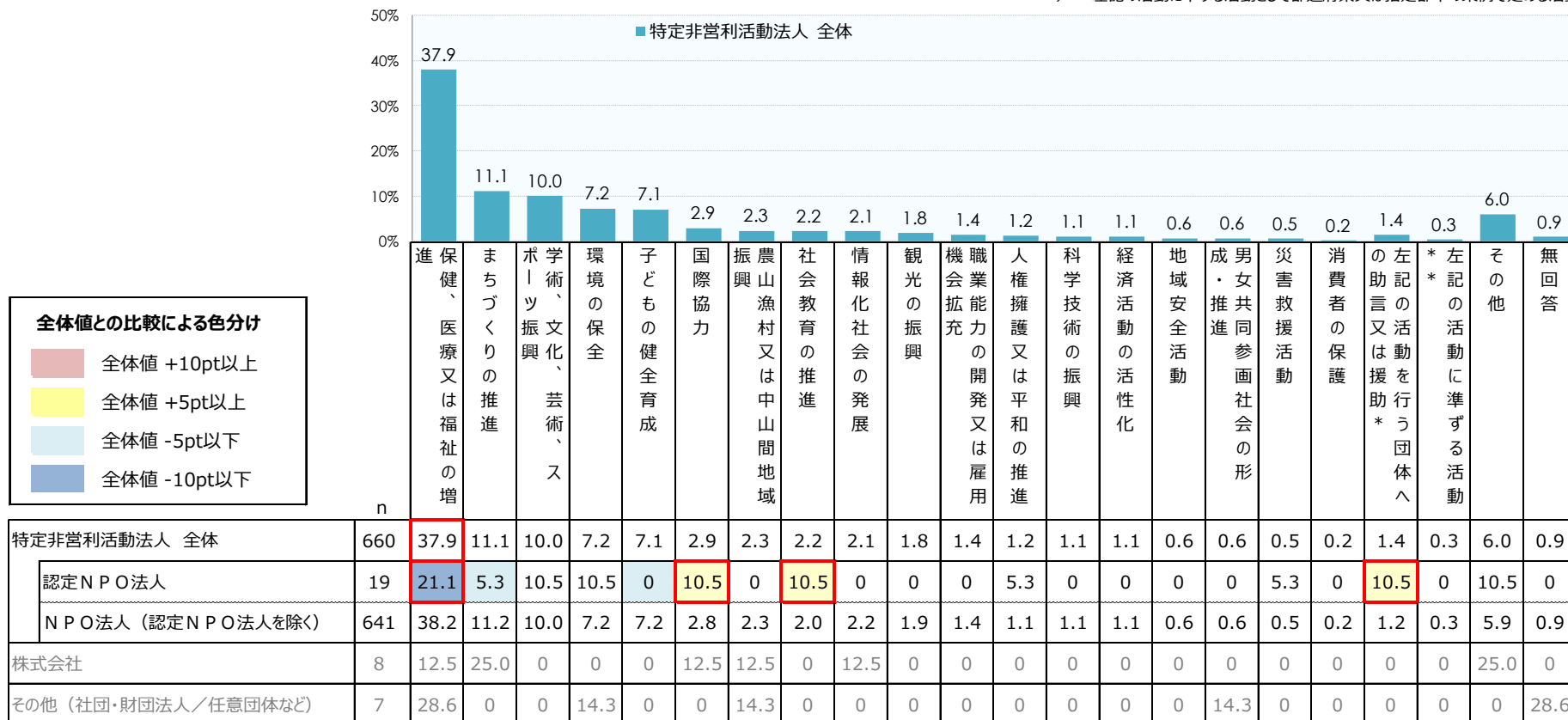
Q2 貴団体の法人形態は何ですか？（SA）

Q3 貴団体を設立して何年が経過しますか？法人格をお持ちの団体は法人設立年を基準に、お持ちでない団体は団体設立年を基準に、下記の該当する番号1つに○をつけてください。（SA）

今回調査の特定非営利活動法人全体の主な活動分野としては、「**保険・医療又は福祉の増進**」が38%で突出。以下、「まちづくりの推進」、「学術・文化・芸術・スポーツ振興」が続く。

認定NPO法人では、「保険・医療又は福祉の増進」は21%とやや低く、一方で「**国際協力**」、「**社会教育の推進**」、「**左記の活動を行う団体への助言又は援助**」が各11%で高くなっている。

\* 左記の活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助  
/\*\* 左記の活動に準ずる活動として都道府県又は指定都市の条例で定める活動



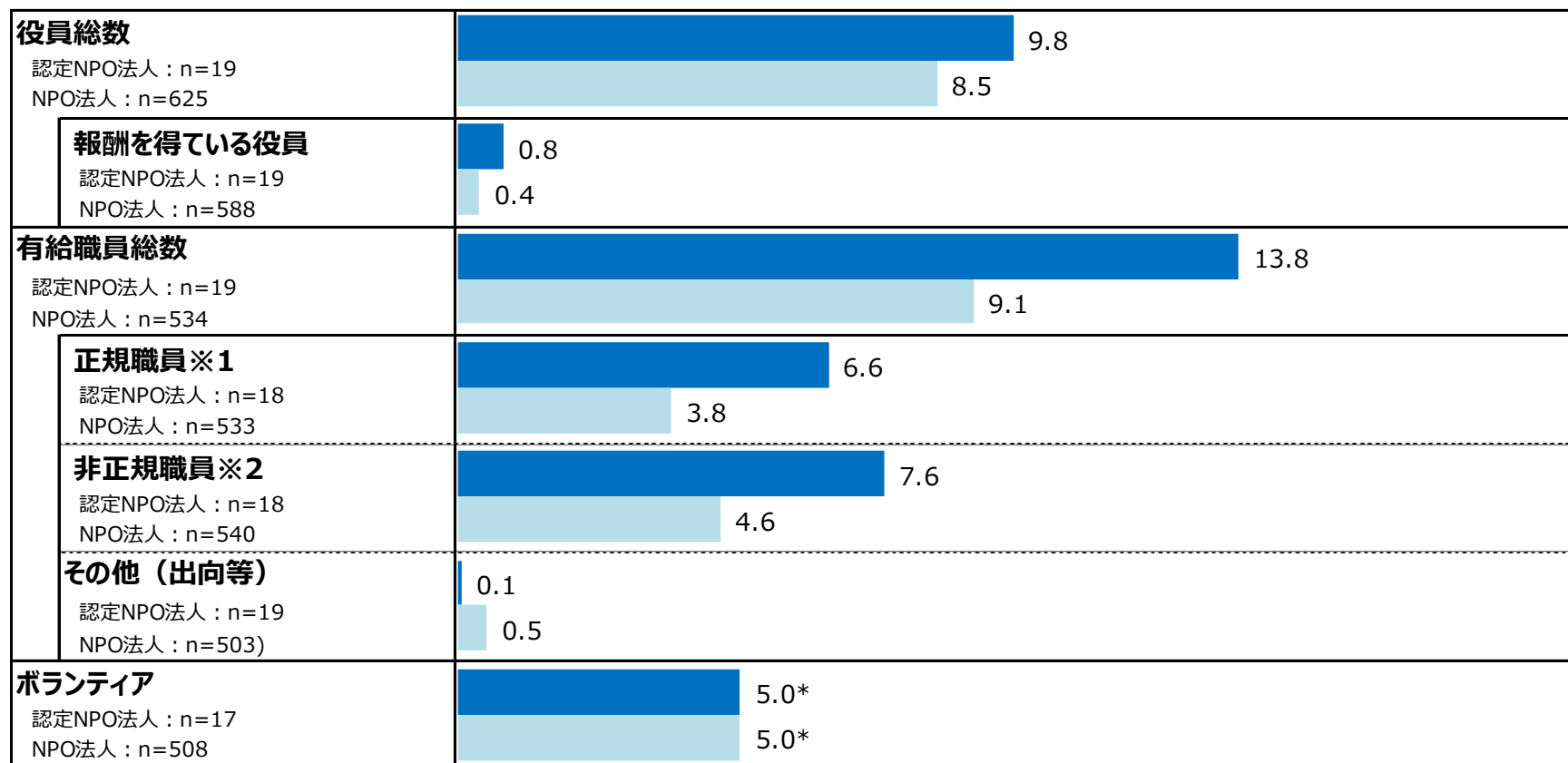
※1 全体値を基準に降順で並び替え／※2 n=30未満の軸は参考値とし、灰色で表示

Q1 貴団体の主な活動分野は何ですか。（SA）

認定NPO法人は、平均役員総数、平均有給職員数ともにNPO法人を上回っている。特に、平均有給職員数は認定NPO法人が**13.8人**、NPO法人が**9.1人**と大きな差がみられる。

■ 認定NPO法人 ■ NPO法人（認定NPO法人を除く）

(人)



※1 週28時間（7時間×4日）以上勤務している職員 / ※2 週28時間未満勤務の職員 / \* ボランティアの数値は中央値

【ベース：特定非営利活動法人】 Q4 2015年11月末現在の貴団体の役員・職員・ボランティアの人数についてご記入ください。（NU）

認定NPO法人の平均収益規模は約4,800万円で、NPO法人の約2,600万円を上回る。特に、会費・寄付金の平均金額が約1,100万で、NPO法人の**4倍以上**となっている。

■ 認定NPO法人    ■ NPO法人（認定NPO法人を除く）    (千円)

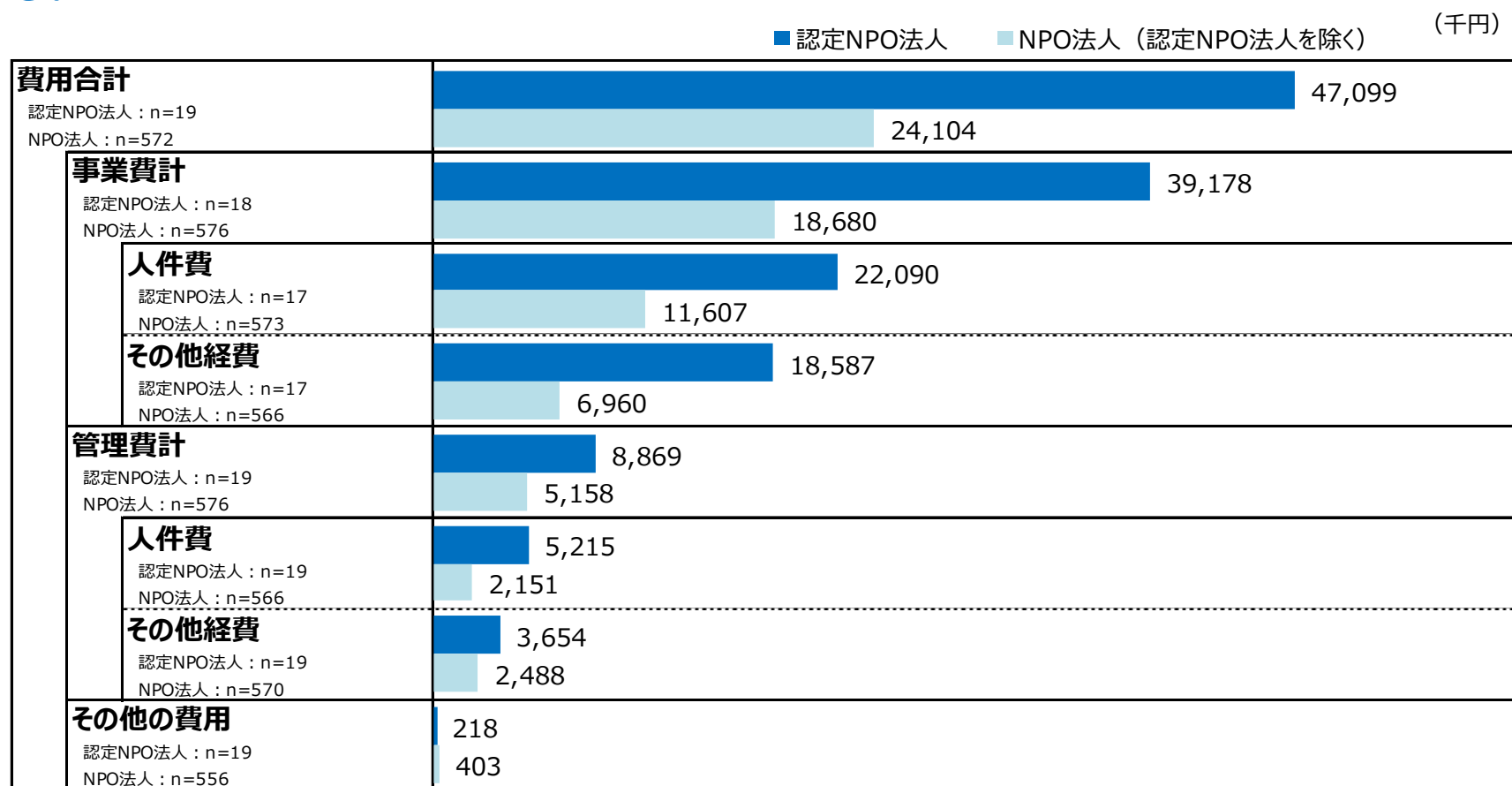
|                                                     |        |
|-----------------------------------------------------|--------|
| <b>収益合計</b><br>認定NPO法人：n=19／NPO法人：n=571             | 47,737 |
|                                                     | 25,505 |
| <b>自主事業</b><br>認定NPO法人：n=19／NPO法人：n=583             | 10,018 |
|                                                     | 5,819  |
| <b>認可事業</b><br>認定NPO法人：n=19／NPO法人：n=570             | 11,651 |
|                                                     | 9,525  |
| <b>行政からの委託事業・指定管理事業</b><br>認定NPO法人：n=19／NPO法人：n=572 | 5,012  |
|                                                     | 5,095  |
| <b>民間からの委託事業</b><br>認定NPO法人：n=19／NPO法人：n=564        | 2,459  |
|                                                     | 609    |
| <b>会費・寄付金</b><br>認定NPO法人：n=19／NPO法人：n=582           | 10,942 |
|                                                     | 2,443  |
| <b>民間からの補助金・助成金</b><br>認定NPO法人：n=19／NPO法人：n=563     | 3,126  |
|                                                     | 724    |
| <b>行政からの補助金・助成金</b><br>認定NPO法人：n=19／NPO法人：n=568     | 3,977  |
|                                                     | 2,374  |
| <b>その他（利息等）</b><br>認定NPO法人：n=19／NPO法人：n=566         | 552    |
|                                                     | 572    |

【ベース：特定非営利活動法人】

Q5 貴団体の前事業年度の年間の収益とその内訳の金額をご記入ください。特定非営利活動法人の場合は、「特定非営利活動に係る事業」についてお答えください。（NU）

\* Q5・Q6の金額は千円未満で四捨五入し、千円単位で記入。ない場合は「0」と記入。

認定NPO法人の平均費用規模は約4,700万円で、NPO法人の約2,400万円を上回る。特に、事業費計の平均金額が約3,900万円で、NPO法人の**2倍以上**となっている。



【ベース：特定非営利活動法人】

Q6 貴団体の前事業年度の年間の費用とその内訳の金額をご記入ください。特定非営利活動法人の場合は、「特定非営利活動に係る事業」についてお答えください。（NU）

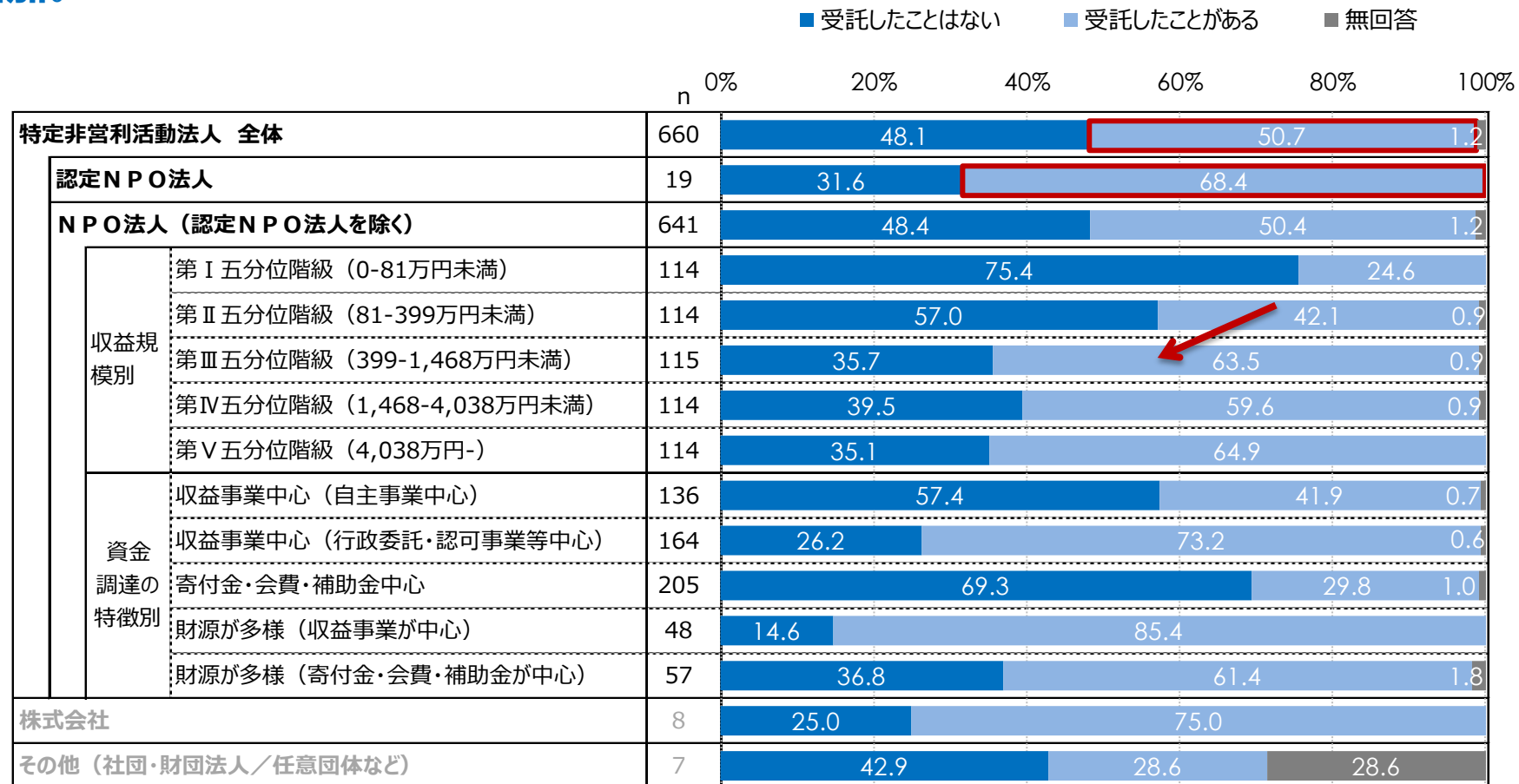
\* Q5・Q6の金額は千円未満で四捨五入し、千円単位で記入。ない場合は「0」と記入。

# 各問詳細 篇

# 行政からの委託事業の受託経験

特定非営利活動法人全体のうち、**51%**の団体が行政からの事業の受託経験がある。特に、認定NPO法人では受託経験のある団体が**7割近く**と多い。

NPO法人では、収益規模別で第Ⅲ五分位階級以上（399万円～）を境に、同割合が**大きく増加**。

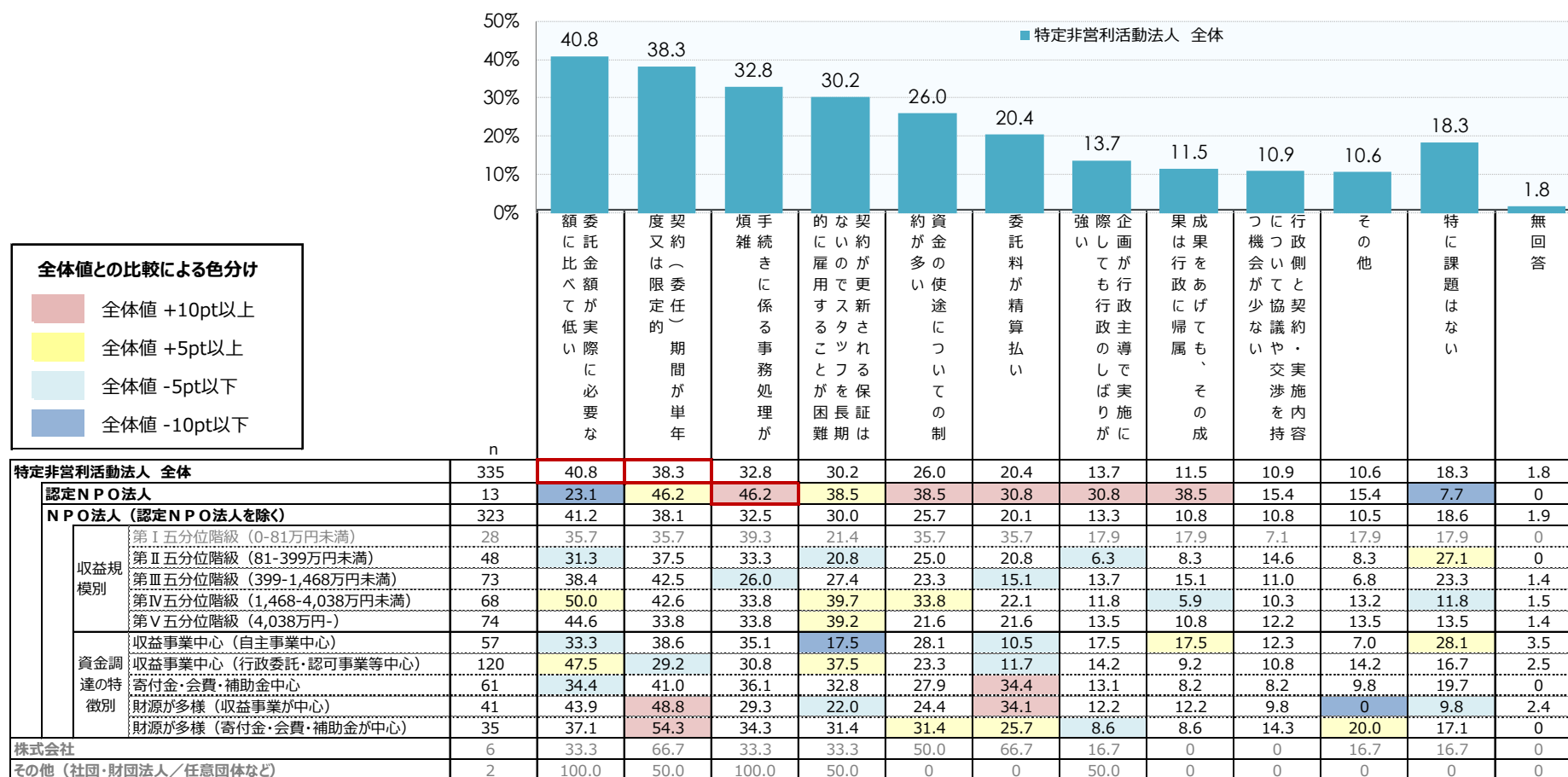


※ 株式会社／その他（社団・財団法人／任意団体など）の軸は参考値とし、灰色で表示

# 行政からの委託事業における課題

特定非営利活動法人全体では、「委託金額が実際に必要な額に比べて低い」が41%、「契約（委任）期間が単年度又は限定的」が38%と高い。

認定NPO法人では、「事業に係る事務処理が煩雑」が46%と高い。



※1 全体値を基準に降順で並び替え／※2 株式会社／その他（社団・財団法人／任意団体など）の軸は参考値とし、灰色で表示

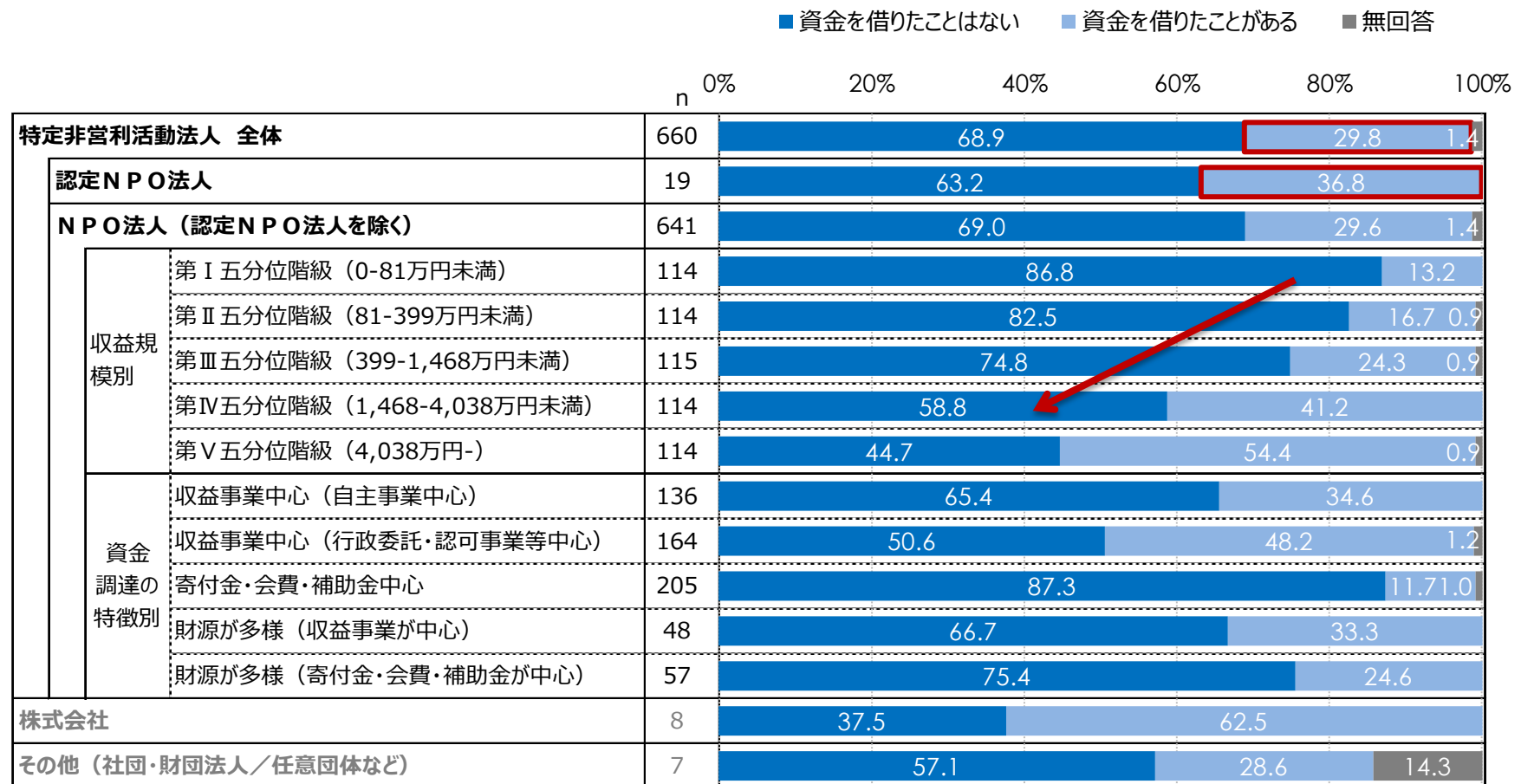
【ベース：行政からの委託事業の受託経験のある団体】 Q7\_2 行政の委託事業にはどのような課題がありますか？（MA）



# 金融機関等からの資金借入れ経験

特定非営利活動法人全体のうち、**30%**の団体が金融機関等から資金を借りたことがあると回答。認定NPO法人では、同割合が**37%**となった。

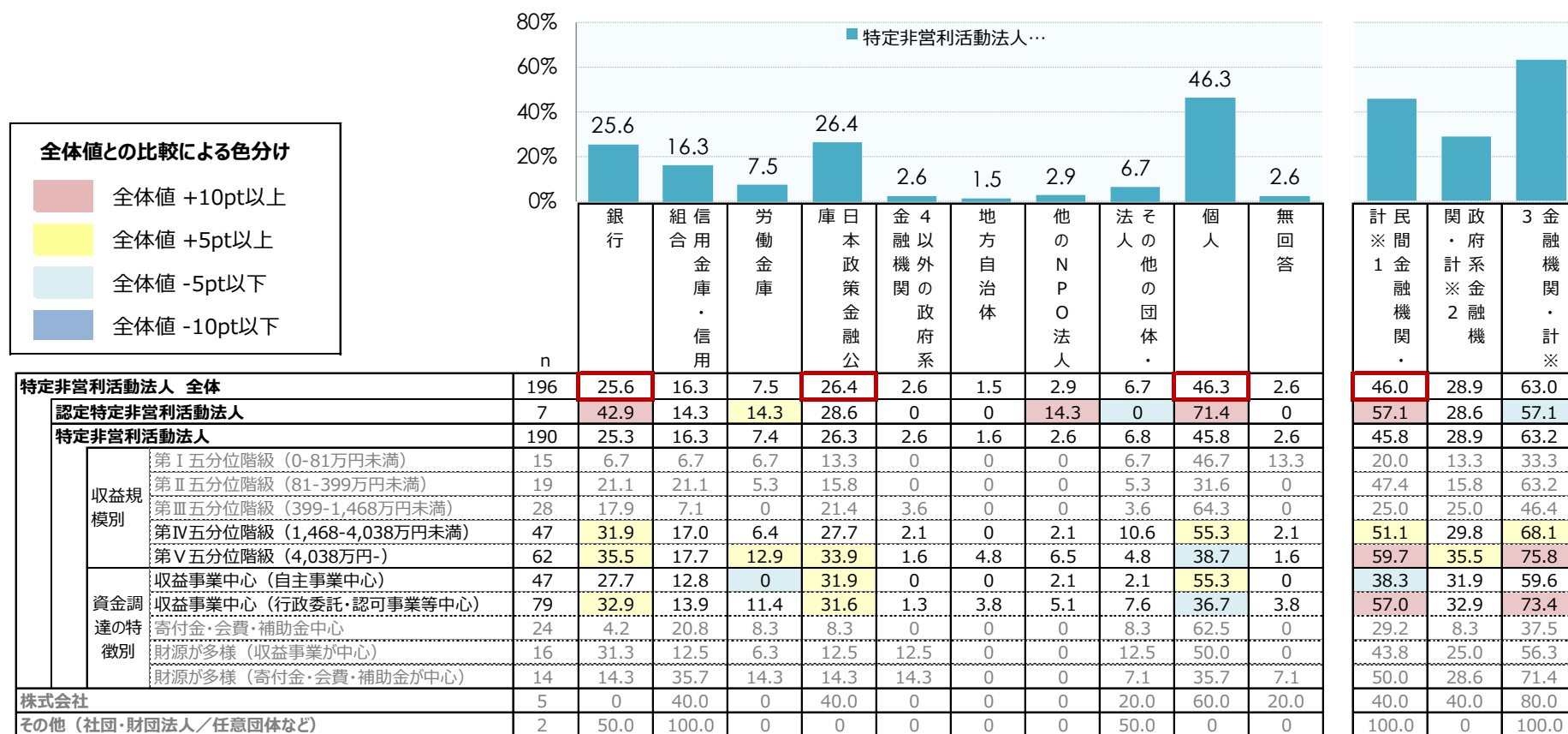
NPO法人では、収益規模が大きくなるにつれて、同割合が上昇。



※ 株式会社／その他（社団・財団法人／任意団体など）の軸は参考値とし、灰色で表示

Q8\_1 団体の設立から現在に至るまでに、事業の拡大や運転資金・つなぎ資金獲得のために金融機関等から資金の借入れをしたことがありますか？（SA）

資金の借入先としては、「個人」と「民間金融機関・計」が各46%で同程度に高い。また、民間金融機関では「銀行」、政府系金融機関では「日本政策金融公庫」が各26%とそれぞれ高くなっている。

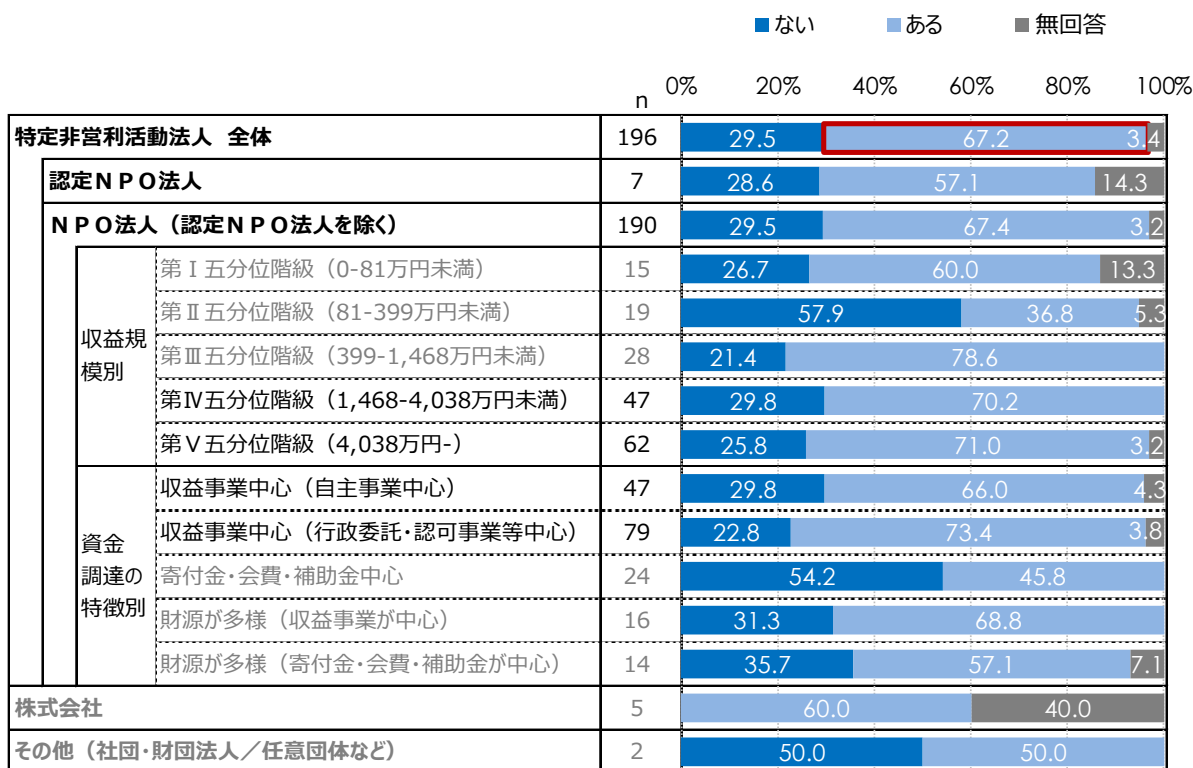


※1民間金融機関…銀行、信用金庫・信用組合、労働金庫の計 ※2政府系金融機関…日本政策金融公庫、それ以外の政府系金融機関の計 ※3金融機関・計…民間、政府系金融機関の計  
※4株式会社/その他 (社団・財団法人/任意団体など) /NPO法人内訳でn=30未満の軸は参考値とし、灰色で表示

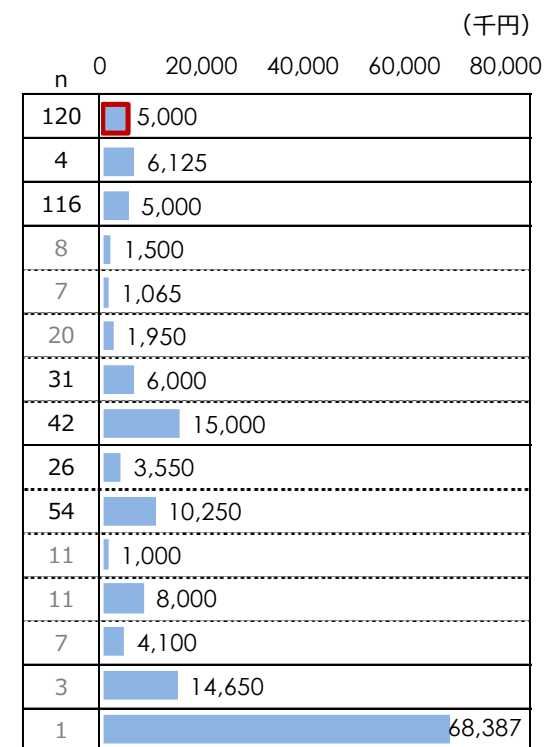
# 借入金残高の有無（平成27年11月時点）

金融機関からの資金借入れ経験のある特定非営利活動法人全体のうち、**67%**の団体は2015年11月時点で借入金残高がある。  
その金額（中央値）は約500万円となった。

借入金残高の有無



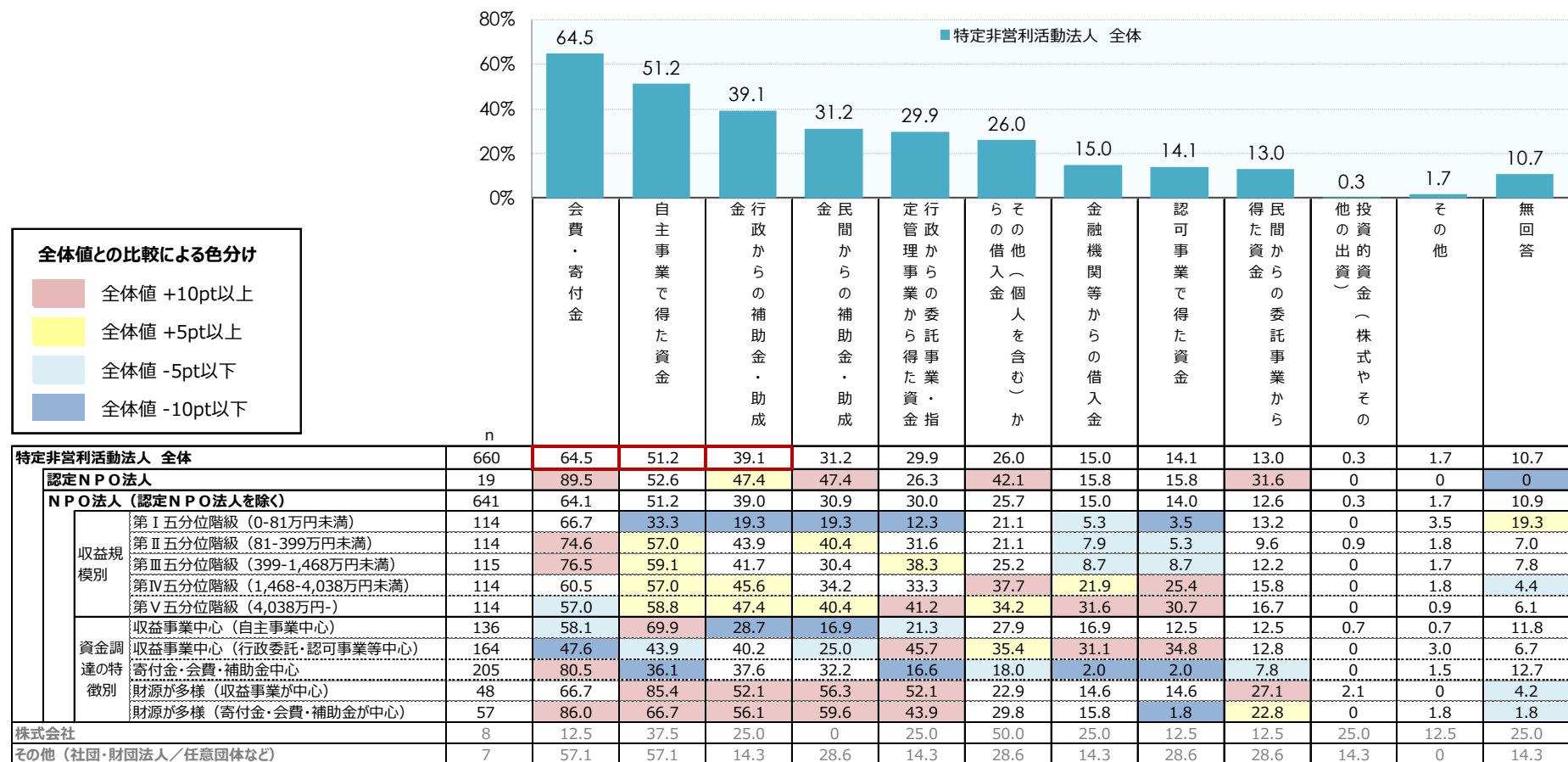
残高金額（中央値）



※株式会社／その他（社団・財団法人／任意団体など）／NPO法人内訳でn=30未満の軸は参考値とし、灰色で表示

# 新規事業の開始や事業の拡大の際に利用した資金源

「会費・寄付金」が最も高く、「自主事業で得た資金」、「行政からの補助金・助成金」が続く。NPO法人では、収益規模が小さい団体では資金源が「会費・寄付金」に集中しているが、規模が大きい団体では資金源の分散傾向がみられる。

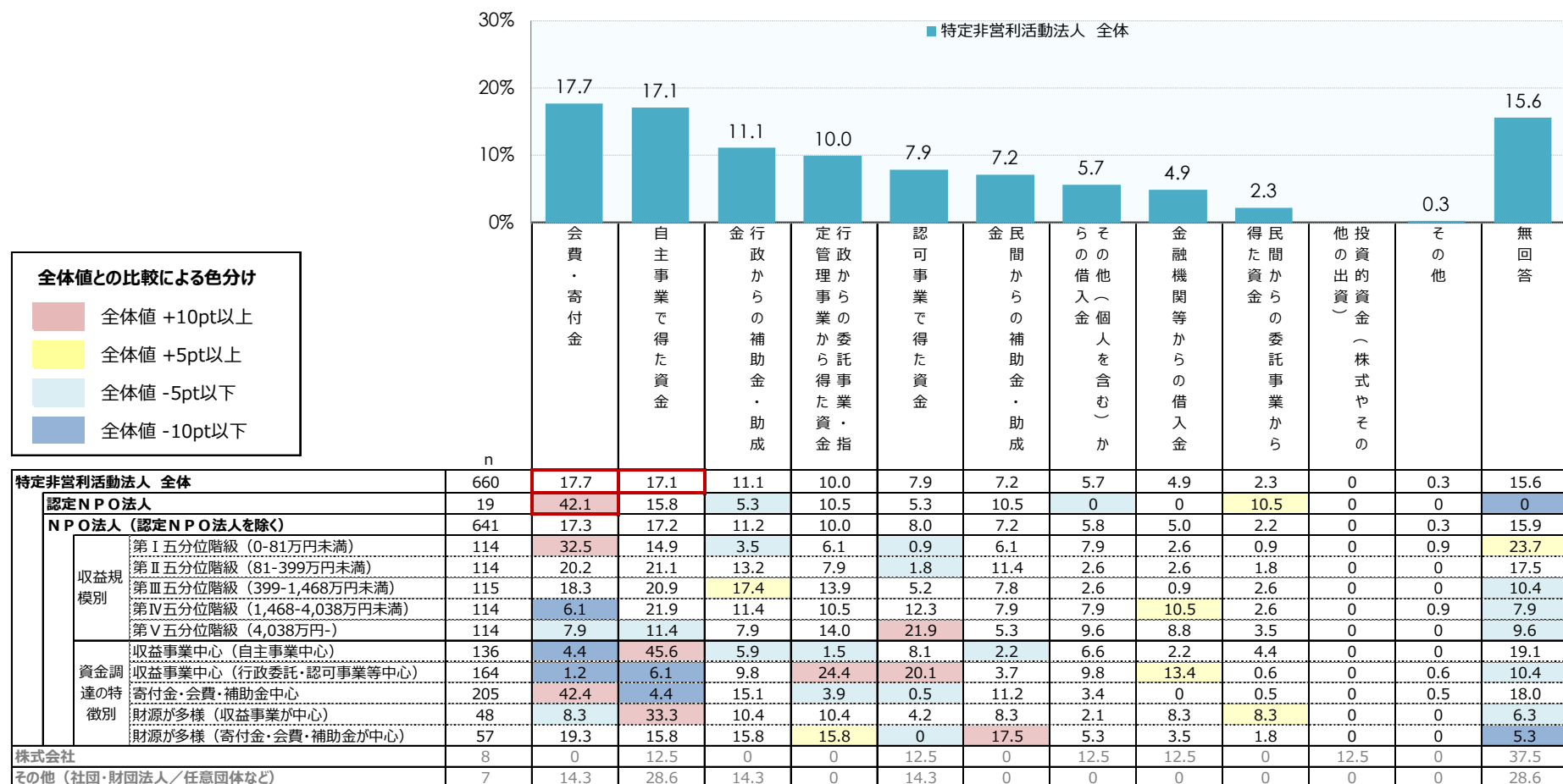


※1 全体値を基準に降順で並び替え／※2 株式会社／その他（社団・財団法人／任意団体など）の軸は参考値とし、灰色で表示

Q9\_1 貴団体では、特に新規事業の立ち上げや事業の拡大に際して、どのような資金を今まで利用しましたか？（MA）

# 新規事業の開始や事業の拡大の際に最も重要だった資金源

「会費・寄付金」と「自主事業で得た資金」が同程度に高い。  
認定NPO法人では、「会費・寄付金」が42%で突出。

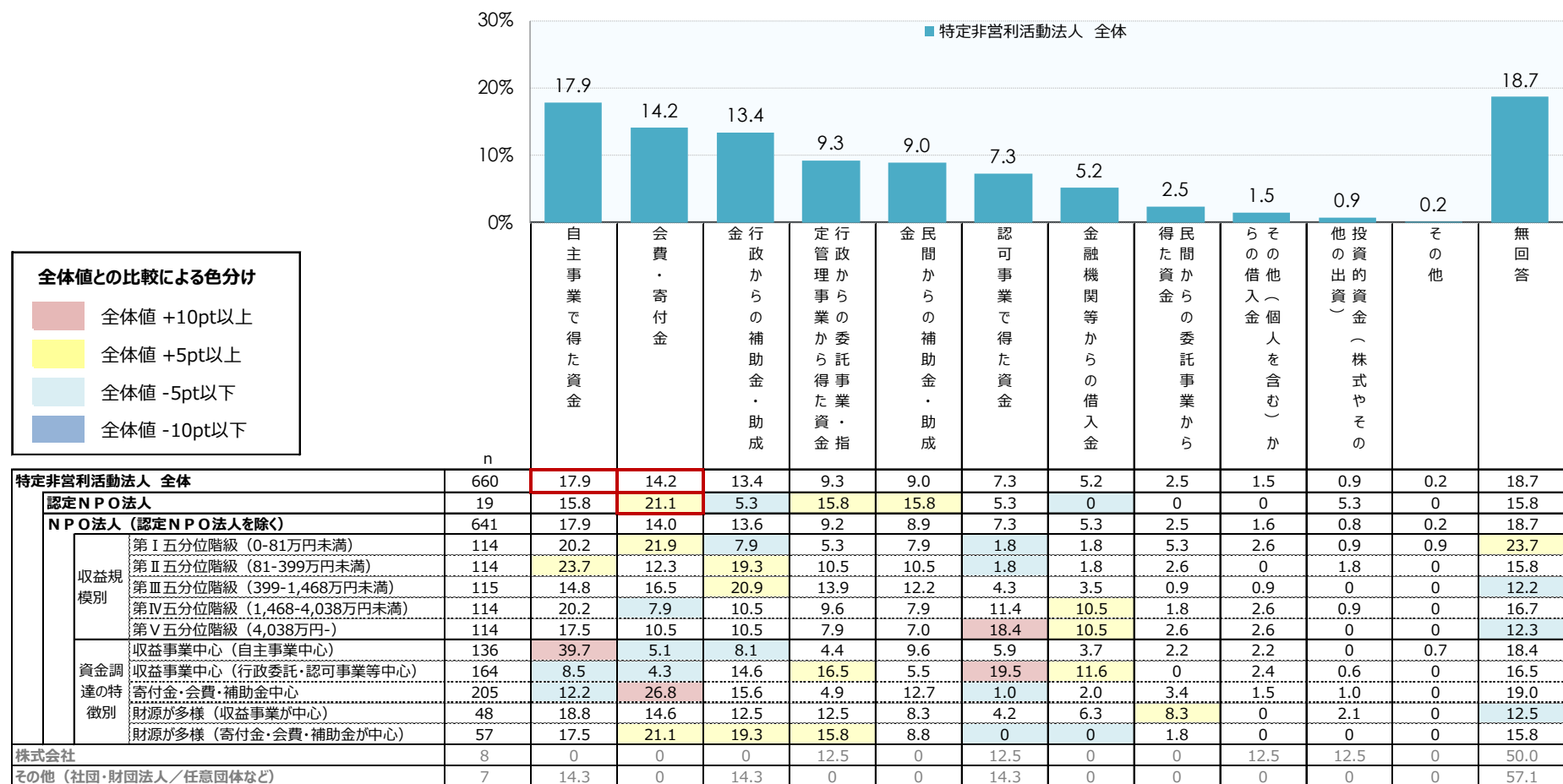


※1 全体値を基準に降順で並び替え／※2 株式会社／その他（社団・財団法人／任意団体など）の軸は参考値とし、灰色で表示

Q9\_2 そのなかでも最も重要な資金について1つに◎つけてください。（SA）

# 新規事業の開始や事業の拡大の際に今後活用したい資金源

今後活用したい資金としては、「自主事業で得た資金」が「会費・寄付金」を僅かに上回った。ただし、認定NPO法人では、「会費・寄付金」がトップにあがる。

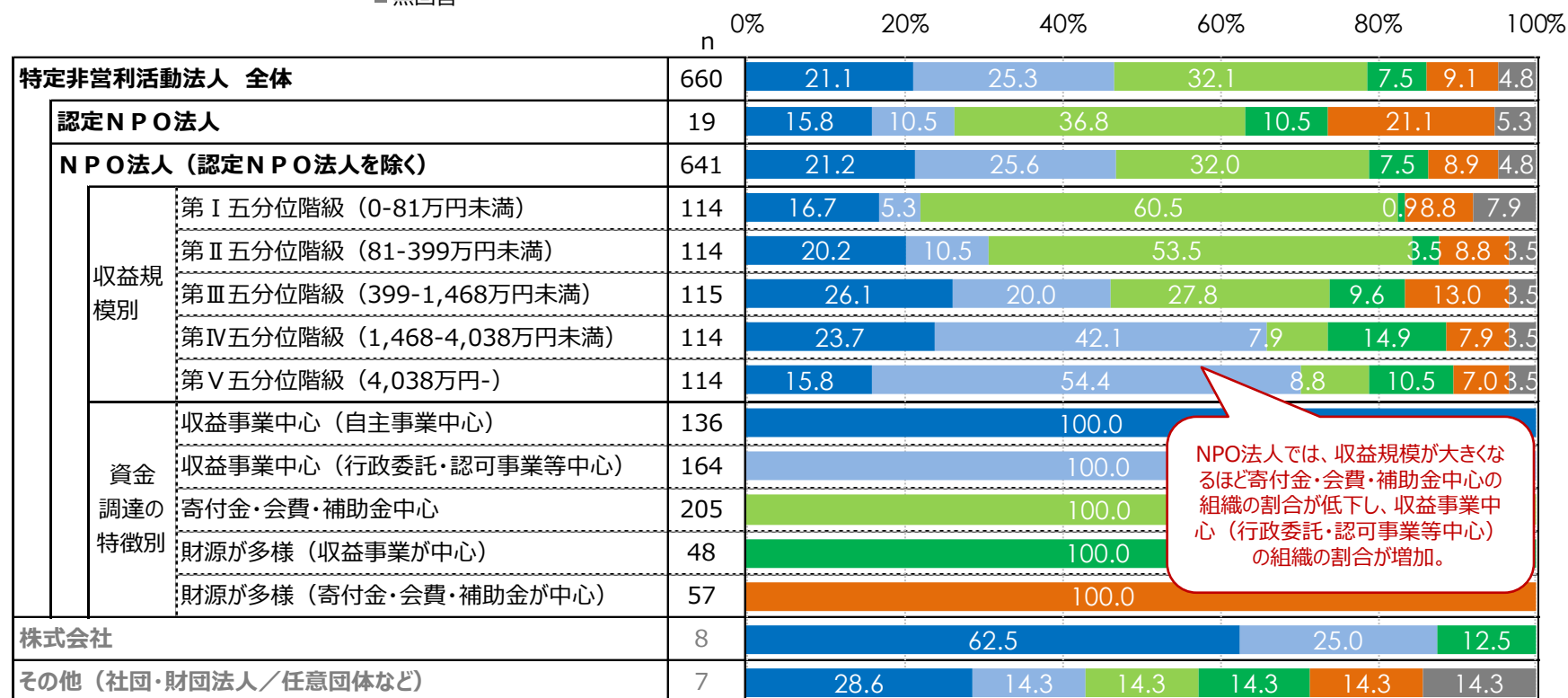


※1 全体値を基準に降順で並び替え／※2株式会社／その他（社団・財団法人／任意団体など）の軸は参考値とし、灰色で表示

Q9\_3 また、今後活用したい資金のなかで最も重要な資金1つに◎をつけてください。（SA）

特定非営利活動法人全体では、寄付金・会費・補助金中心の団体が**32%**、行政委託・認可事業等中心の団体が**26%**、自主事業中心の団体が**21%**となった。

- 収益事業中心の組織であるが、収益事業は自主事業中心である
- 収益事業中心の組織であるが、収益事業は行政からの委託や、認可事業又は指定管理が中心である
- 寄付金・会費又は補助金中心の組織である
- 多様な財源を獲得しているが、収益事業による収入が多い
- 多様な財源を獲得しているが、寄付金・会費又は補助金による収入が多い
- 無回答



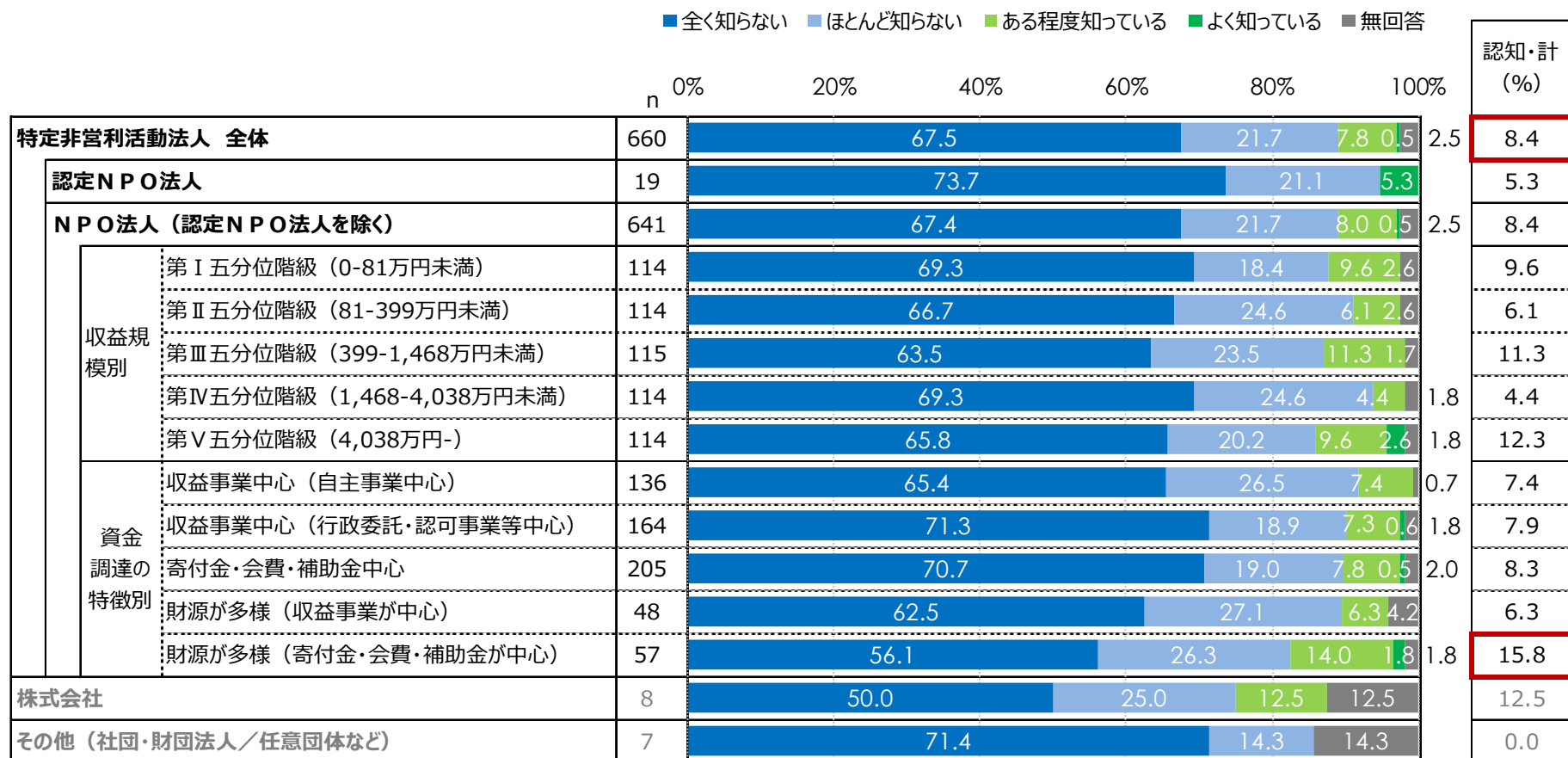
Q10 貴団体の資金調達の特徴として、下記の最も該当する番号 1 つに○をつけてください。（SA）

※株式会社／その他（社団・財団法人／任意団体など）の軸は参考値とし、灰色で表示



特定非営利活動法人全体では、認知率\*は**8%**。但し、「よく知っている」は**1%未満**。  
NPO法人のうち、資金調達の財源が多様（寄付金・会費・補助金を中心）な団体では、認知率が**16%**と高い。

\*認知率…認知・計（「ある程度知っている」「よく知っている」）の値



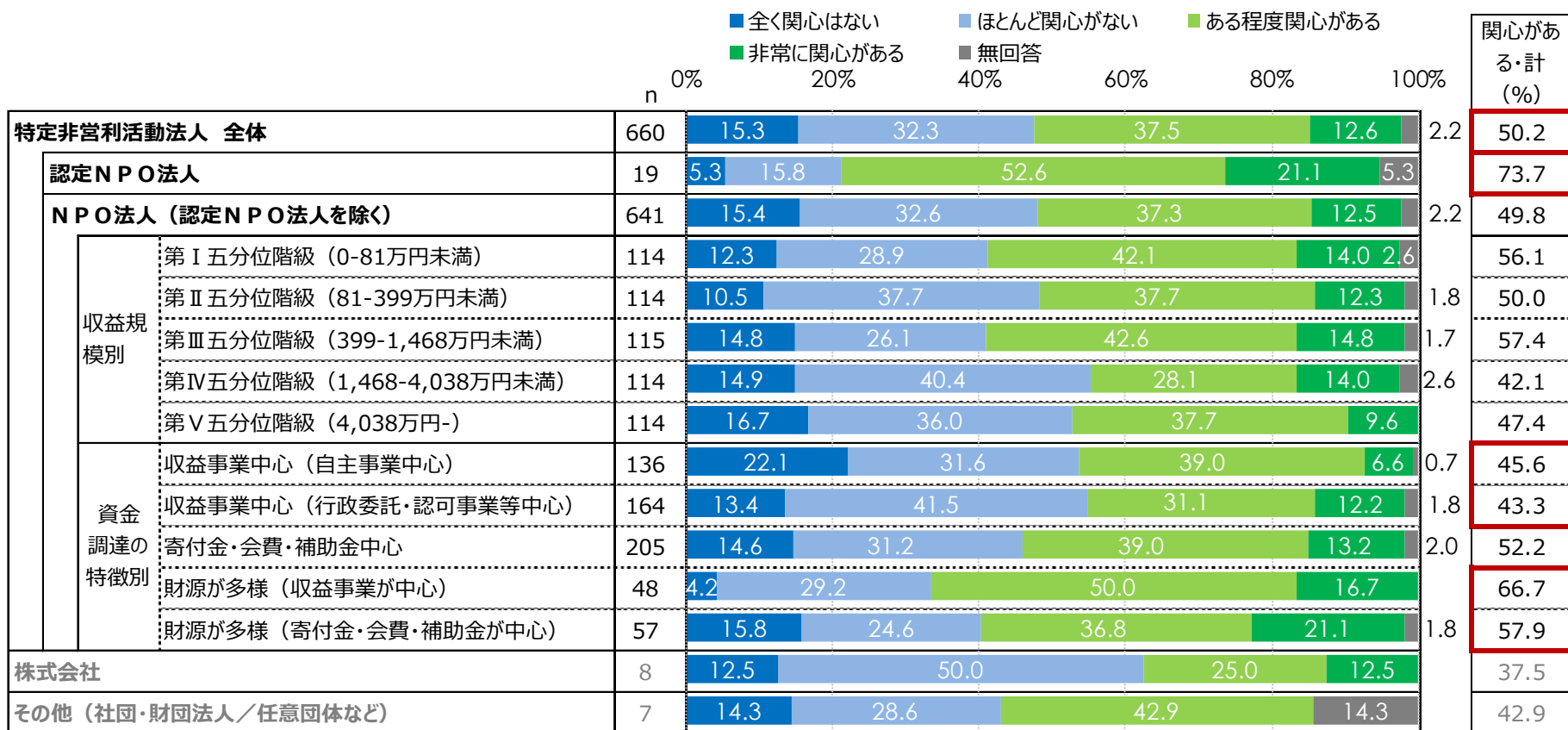
※株式会社／その他（社団・財団法人／任意団体など）の軸は参考値とし、灰色で表示

Q11 ソーシャルインパクト・ボンド（SIB）についてご存知ですか？ 下記の該当する番号1つに○をつけてください（SIBについては、下記の囲みの解説を参照）。（SA）



特定非営利活動法人全体のうち、**50%**の団体がSIBに関心がある。特に、認定NPO法人では、同比率が**74%**と高い。

また、NPO法人では、**収益事業中心の団体に比べて、財源が多様な団体の方が同比率が高い。**

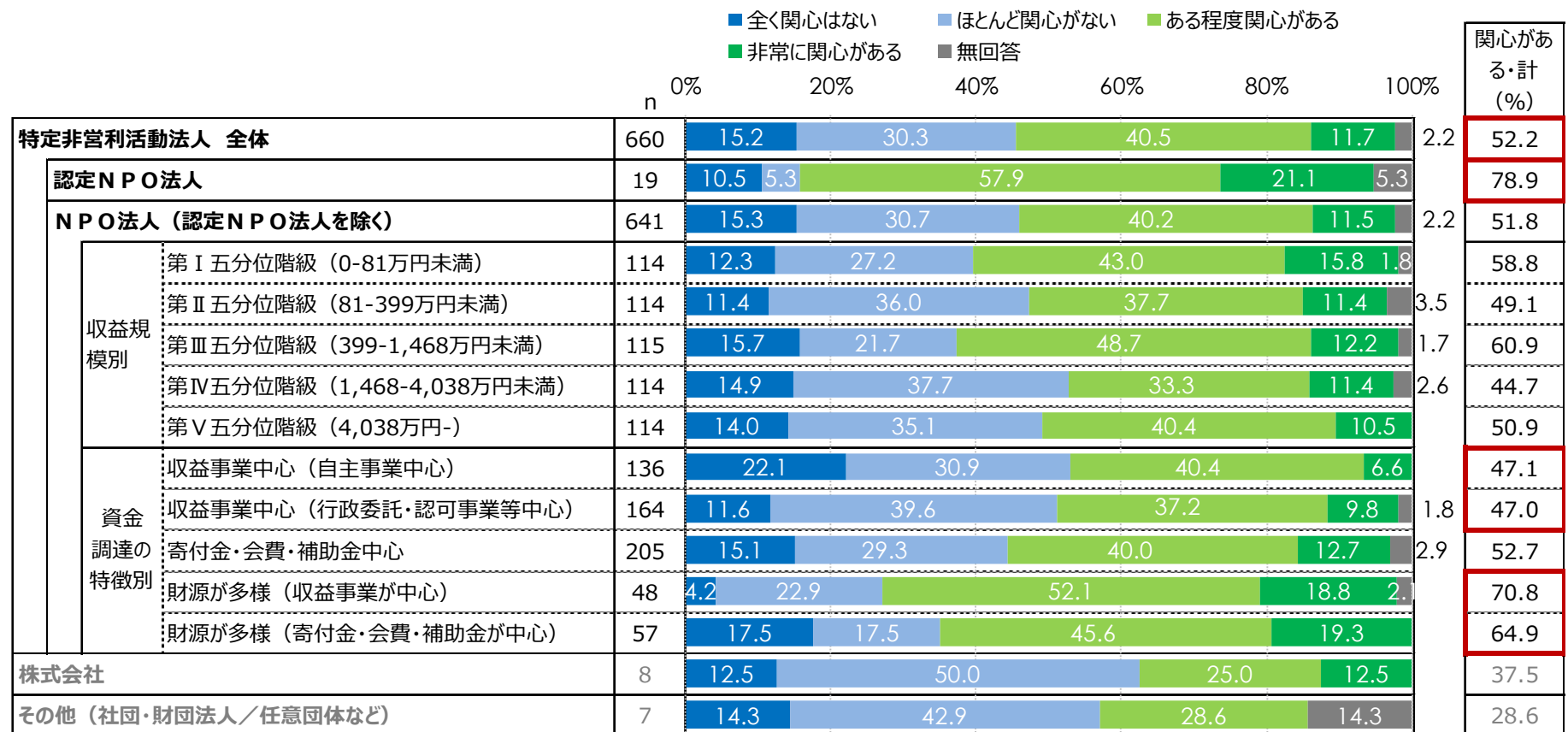


※株式会社／その他（社団・財団法人／任意団体など）の軸は参考値とし、灰色で表示

# 日本でSIBが導入された場合の、SIB活用への関心

特定非営利活動法人全体のうち、**52%**の団体が日本でSIBが導入された場合の活用に関心を示している。特に、認定NPO法人では、同比率が**79%**と高い。

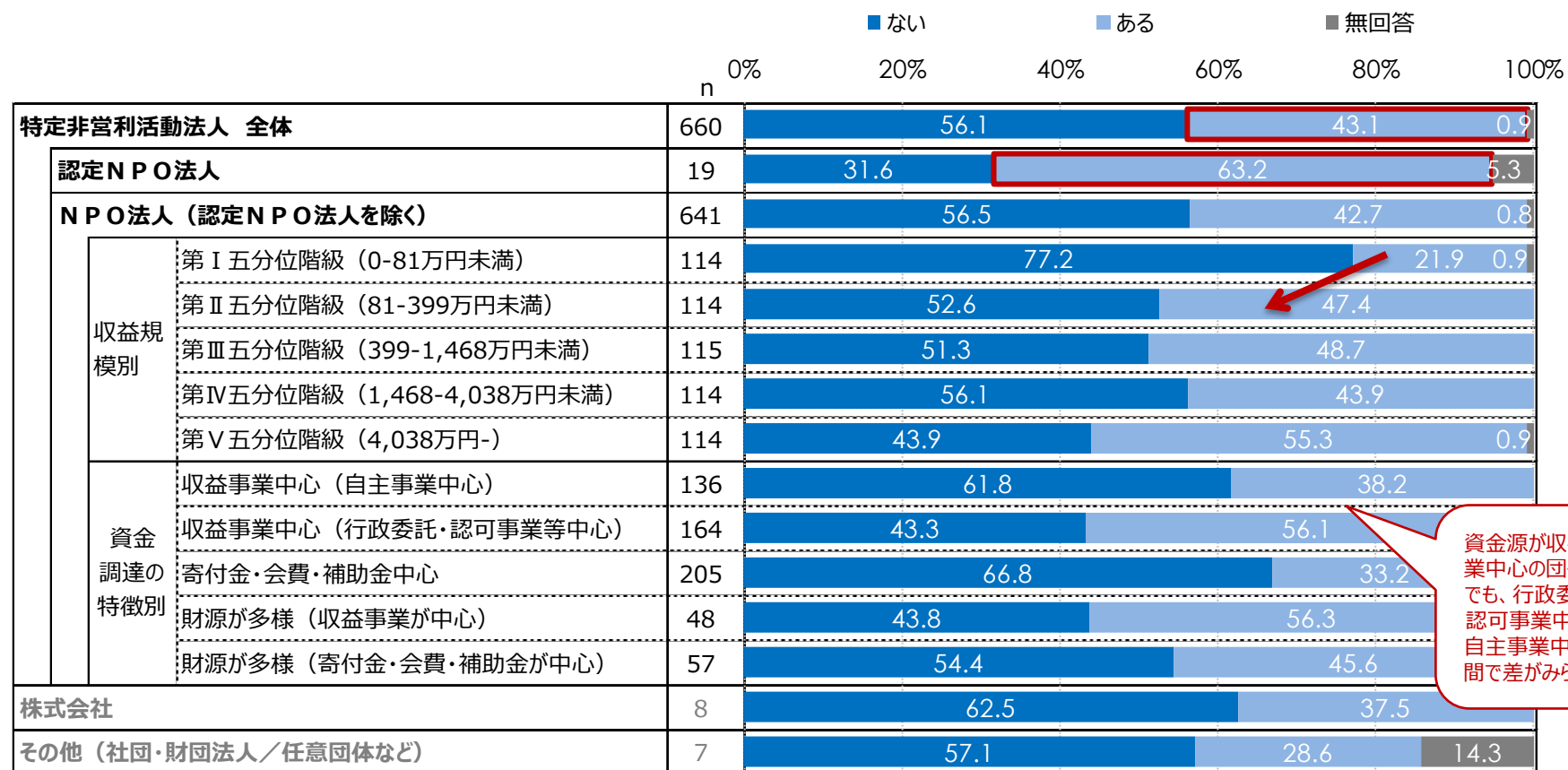
また、NPO法人では、**収益事業中心の団体に比べて、財源が多様な団体の方が同比率が高い。**



※株式会社／その他（社団・財団法人／任意団体など）の軸は参考値とし、灰色で表示

特定非営利活動法人全体のうち、**43%**の団体が評価の実施経験がある。特に、認定NPO法人では**63%**の団体が実施経験がある。

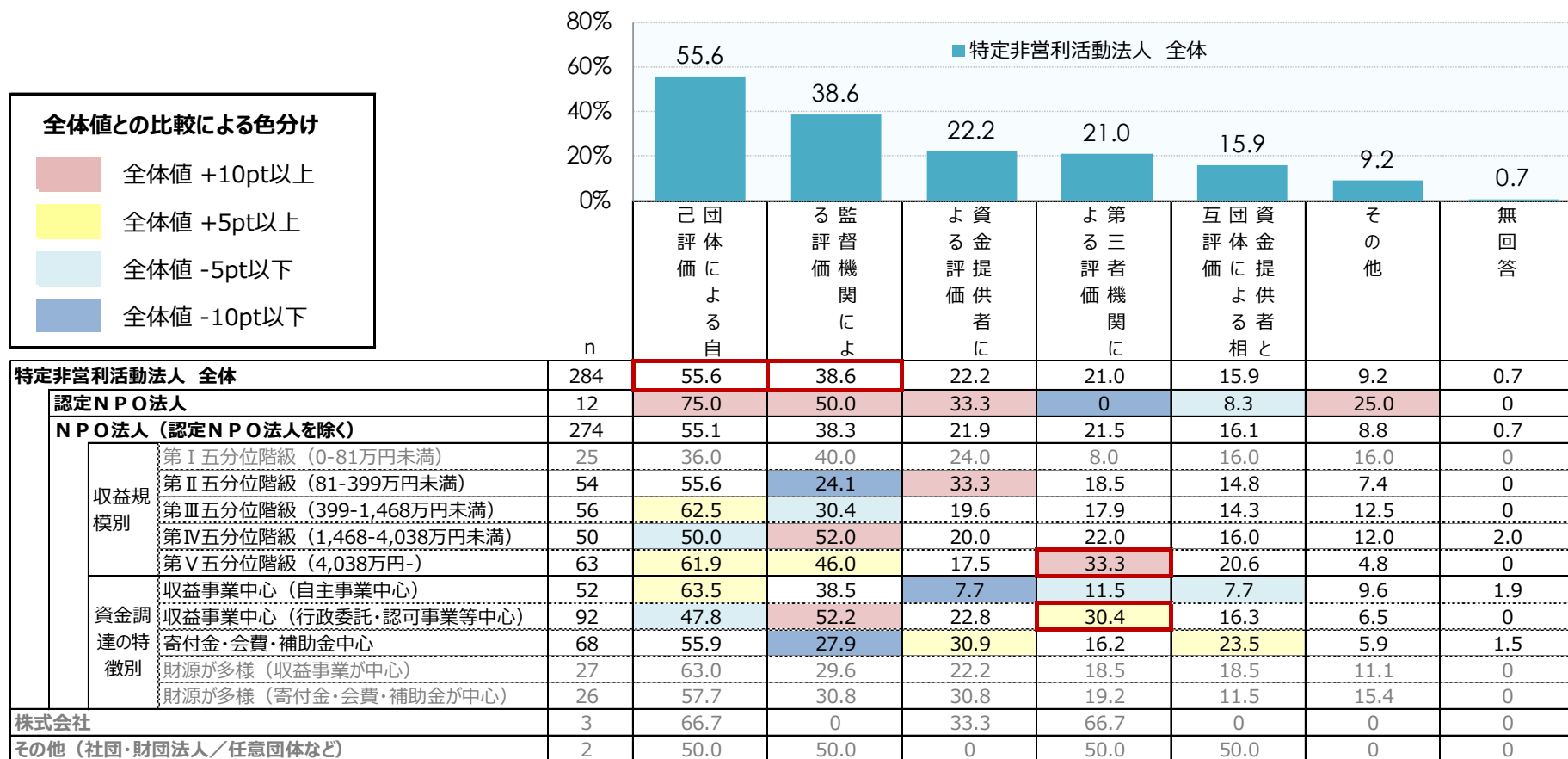
NPO法人の収益規模別では、**第Ⅱ五分位階級以上（81万円以上）の団体では、評価の実施経験が大幅に増えている。**



※株式会社／その他（社団・財団法人／任意団体など）の軸は参考値とし、灰色で表示

Q13 貴団体は、事業活動の全部又は一部について、評価を実施したり、評価を受けたりしたことはありますか？（SA）

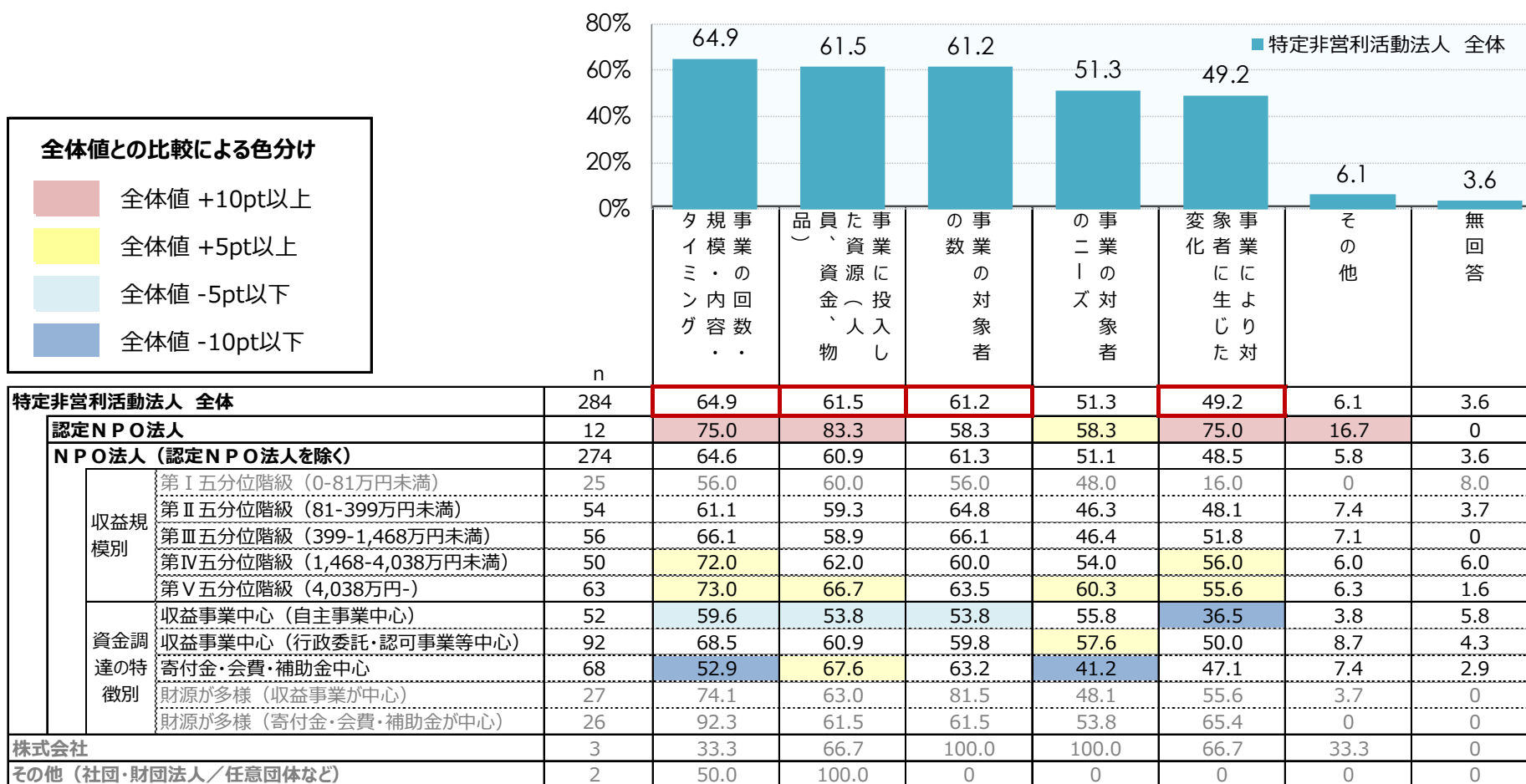
特定非営利活動法人全体では、「自己評価」が**56%**で突出、「監督機関による評価」が続く。  
NPO法人で資金源が行政委託・認可事業中心の団体、収益規模別で第Ⅴ五分位階級（4,038万円以上）の団体は、他の団体に比べて「監督機関・第三者機関による評価」の比率が高くなっている。



※1 全体値を基準に降順で並び替え／※2 株式会社／その他（社団・財団法人／任意団体など）／NPO法人内訳でn=30未満の軸は参考値とし、灰色で表示

【ベース：事業活動の評価実施・被評価経験がある団体】 Q14 評価の実施主体について、下記の該当する番号すべてに○をつけてください。（MA）

「事業の回数・規模・内容・タイミング」「事業に投入した資源」「事業の対象者の数」が各60%程度で上位にあがる。他方で、「事業により対象者に生じた変化」は多くの層で他項目に比べて低い。



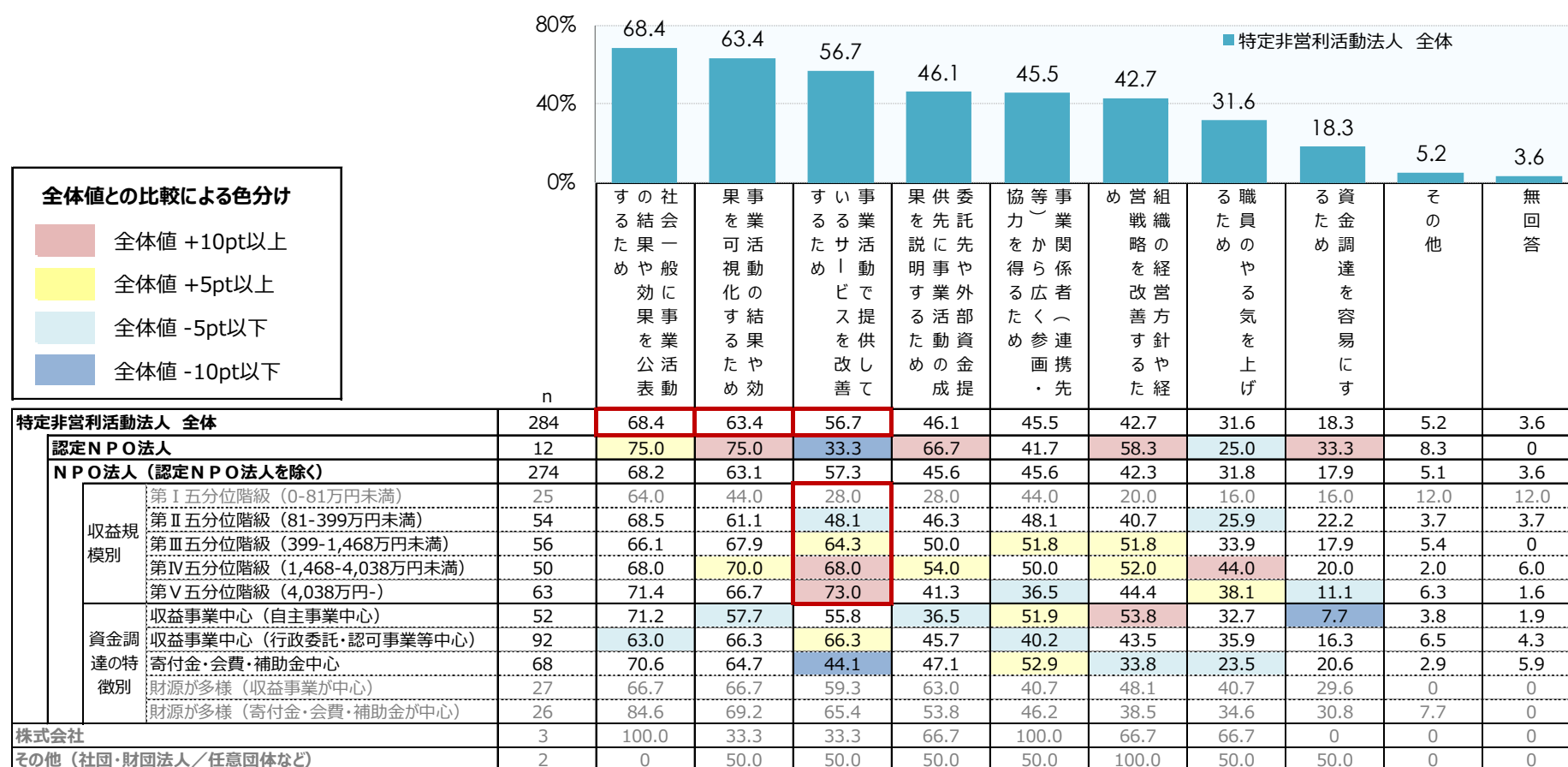
※1 全体値を基準に降順で並び替え／※2 株式会社／その他（社団・財団法人／任意団体など）／NPO法人内訳でn=30未満の軸は参考値とし、灰色で表示

【ベース：事業活動の評価実施・被評価経験がある団体】 Q15 評価をするために、どのような内容の情報を収集していますか？（MA）

# 評価を実施する目的（複数回答）

「社会一般に事業活動の結果や成果を公表するため」、「事業活動の結果や効果を可視化するため」、「事業活動で提供しているサービスを改善するため」が上位。

NPO法人では、**収益規模が大きくなるほど、サービスを改善する目的で評価を実施する団体が多くなっている。**



※1 全体値を基準に降順で並び替え／※2 株式会社／その他（社団・財団法人／任意団体など）／NPO法人内訳でn=30未満の軸は参考値とし、灰色で表示

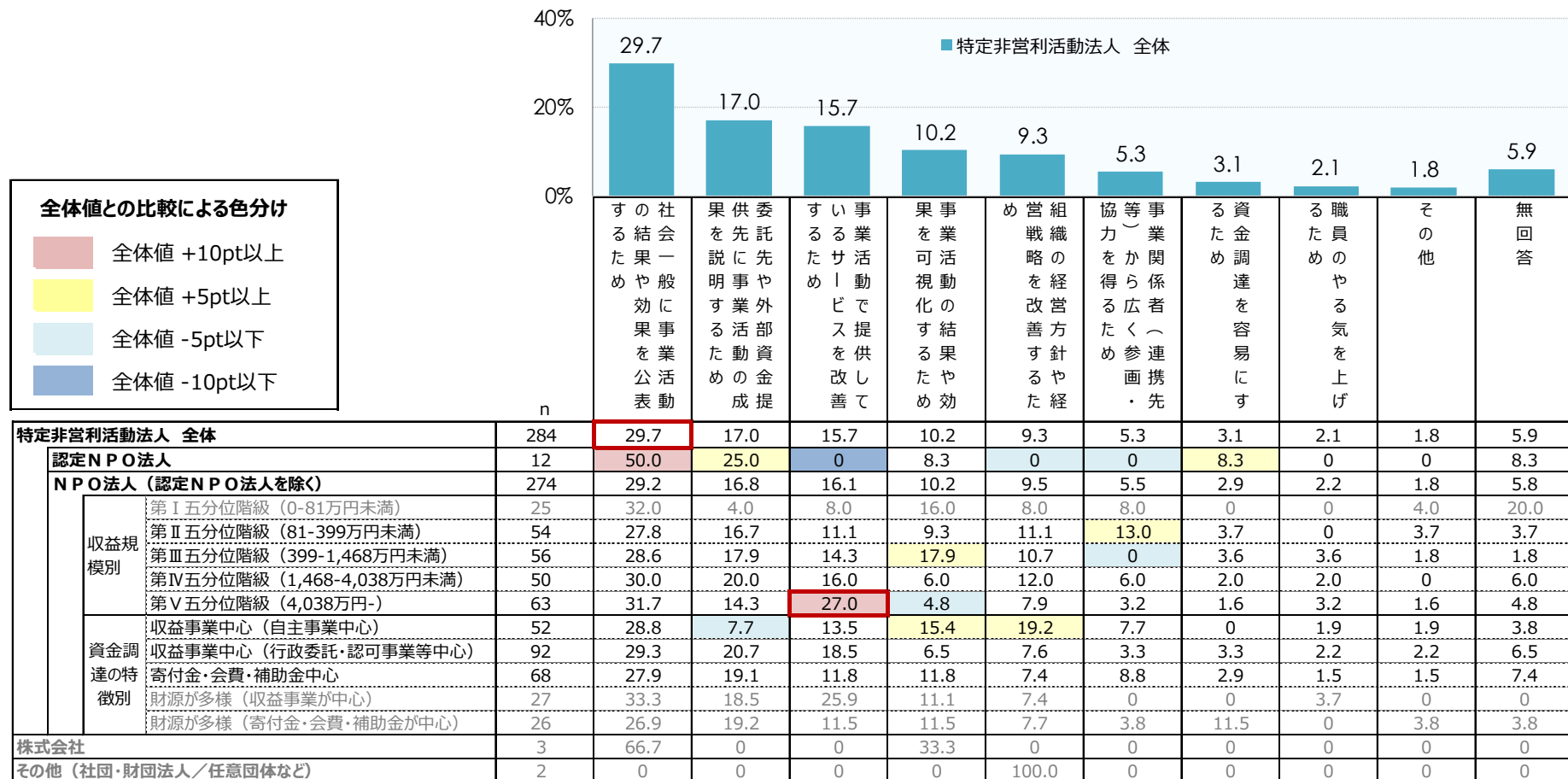
【ベース：事業活動の評価実施・被評価経験がある団体】Q16\_2 評価をどのような目的で実施していますか？その他重要な目的については、該当する目的すべてに○をつけてください。（MA）



# 評価を実施する最も重要な目的（単数回答）

「社会一般に事業活動の結果や効果を公表するため」が30%で突出。

NPO法人の収益規模別で第Ⅴ五分位階級（4,038万円以上）では、「事業活動で提供しているサービスを改善するため」が27%と高い。

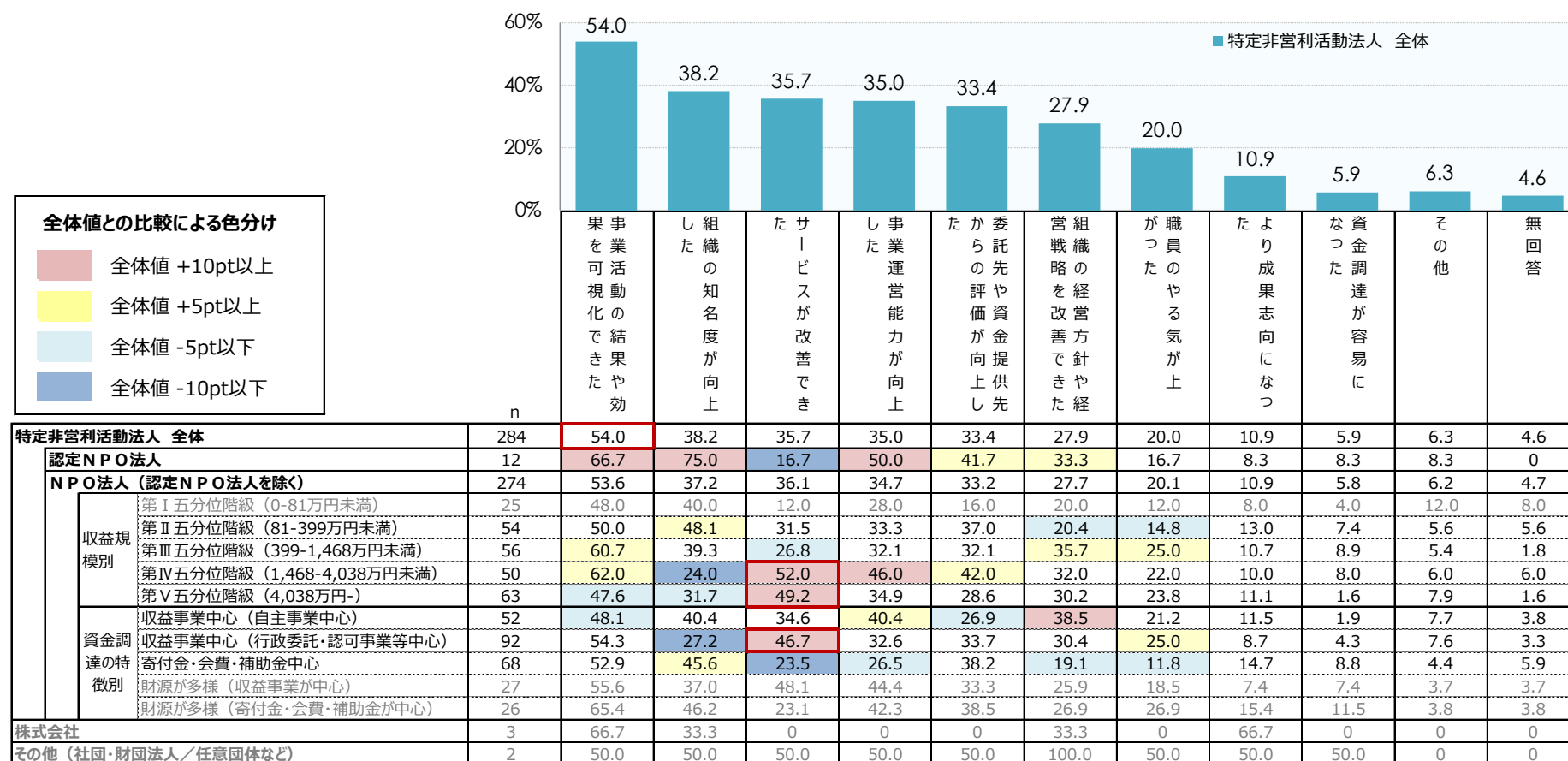


※1 全体値を基準に降順で並び替え／※2 株式会社／その他（社団・財団法人／任意団体など）／NPO法人内訳でn=30未満の軸は参考値とし、灰色で表示

【ベース：事業活動の評価実施・被評価経験がある団体】Q16\_1 評価をどのような目的で実施していますか？ 最も重要な目的については、該当する目的1つに◎をつけてください。（SA）

「事業活動の結果や効果を可視化できた」が54%で突出。

NPO法人で資金源が行政委託・認可事業中心の団体、収益規模別で第Ⅳ五分位階級以上（1,468万円以上）の団体は、他層に比べて「サービスが改善できた」の比率が高くなっている。



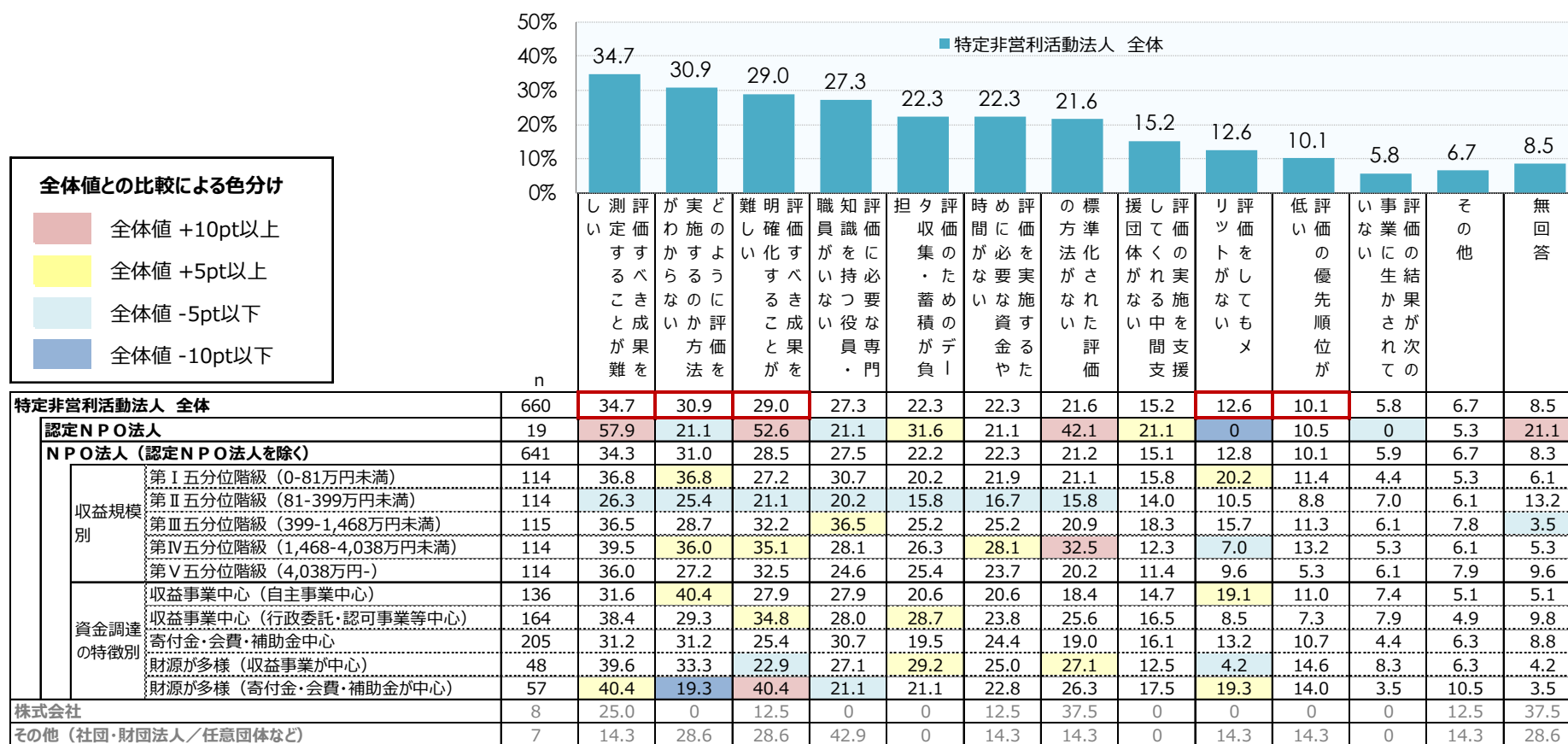
※1 全体値を基準に降順で並び替え／※2 株式会社／その他（社団・財団法人／任意団体など）／NPO法人内訳でn=30未満の軸は参考値とし、灰色で表示

【ベース：事業活動の評価実施・被評価経験がある団体】 Q17 評価を実施したことで、どのような効果がありましたか？（MA）



**評価実施の方法・測定の難しさ**（「評価すべき成果の測定の難しさ」「評価実施の方法がわからない」「評価すべき成果の明確化の難しさ」）が評価実施上の障害と考えられる。他方で、「評価の優先順位が低い」や「評価をしてもメリットがない」などの比率は低い。

⇒ **評価実施の意向・需要はあるものの、評価実施の困難さが障害となっていると推察される。**



※1 全体値を基準に降順で並び替え／※2 株式会社／その他（社団・財団法人／任意団体など）の軸は参考値とし、灰色で表示

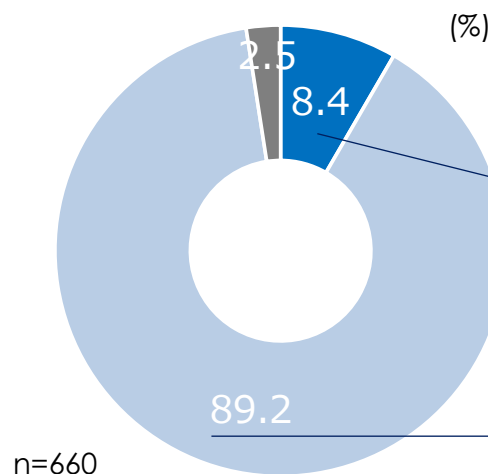
Q18 評価をする上で、どのような課題がありますか？（MA）

# 簡易分析 篇

特定非営利活動法人全体のSIBの認知度は**8%**。  
一方で、SIB活用意向（活用への関心度）は全体で**52%**、SIB認知団体では**67%**と高い。さらに、SIB非認知団体でも**51%**にのぼる。

## 認知度

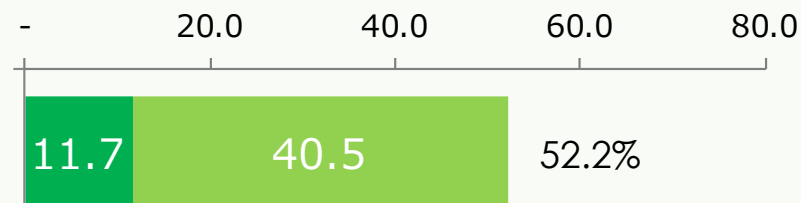
■ SIB認知団体 ■ SIB非認知団体 ■ 無回答



## 活用意向

■ 非常に関心がある ■ ある程度関心がある

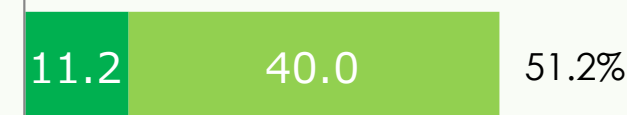
特定非営利活動法人  
全体 (n=660)



SIB認知団体  
(n=55)



SIB非認知団体  
(n=589)



【ベース：特定非営利活動法人】

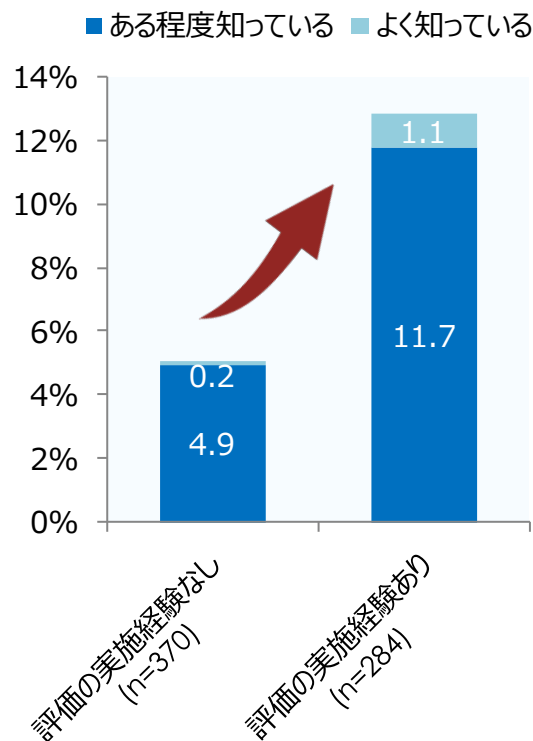
Q11 ソーシャルインパクト・ボンド（SIB）についてご存知ですか？（SA）

Q12\_2 仮にソーシャルインパクト・ボンド（SIB）が日本で開始された場合、貴団体は事業の拡大やミッションの実現のために、SIBを活用することに関心がありますか？（SA）

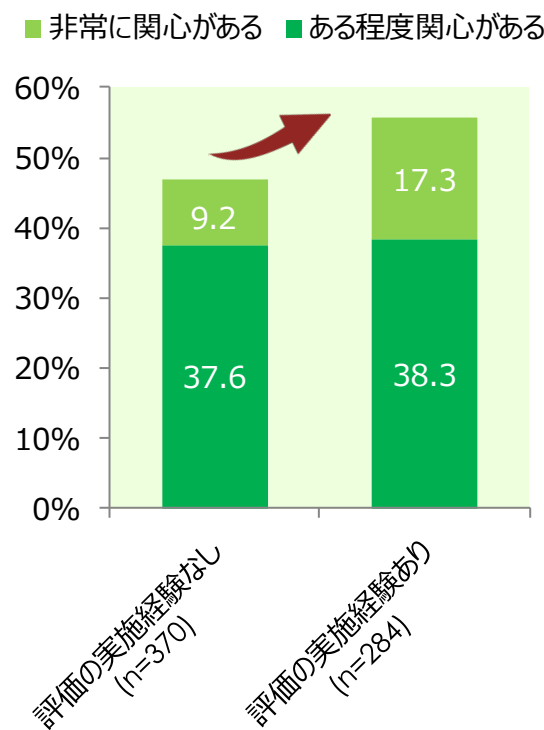
SIBの認知・関心度・活用意向すべてにおいて、事業評価を実施している団体は、評価を実施していない団体を上回っている。

⇒評価実施を行っている団体ほど、SIBに対して前向きな姿勢がうかがえる。

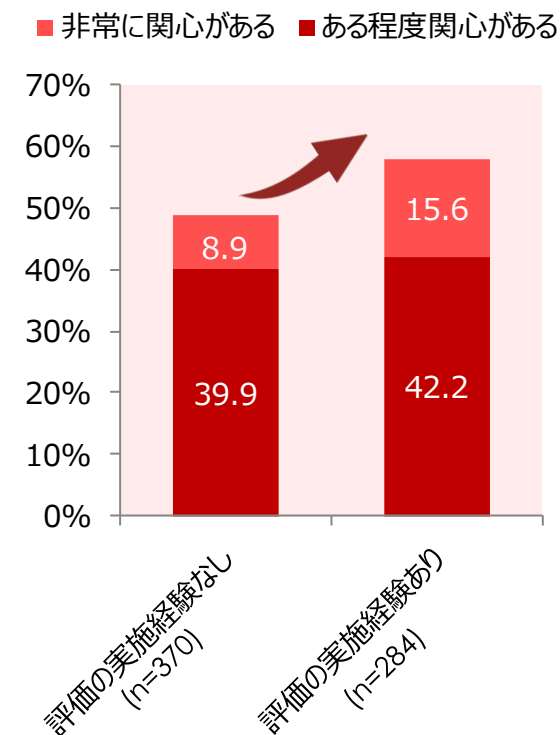
## 認知度



## 関心度



## 活用意向



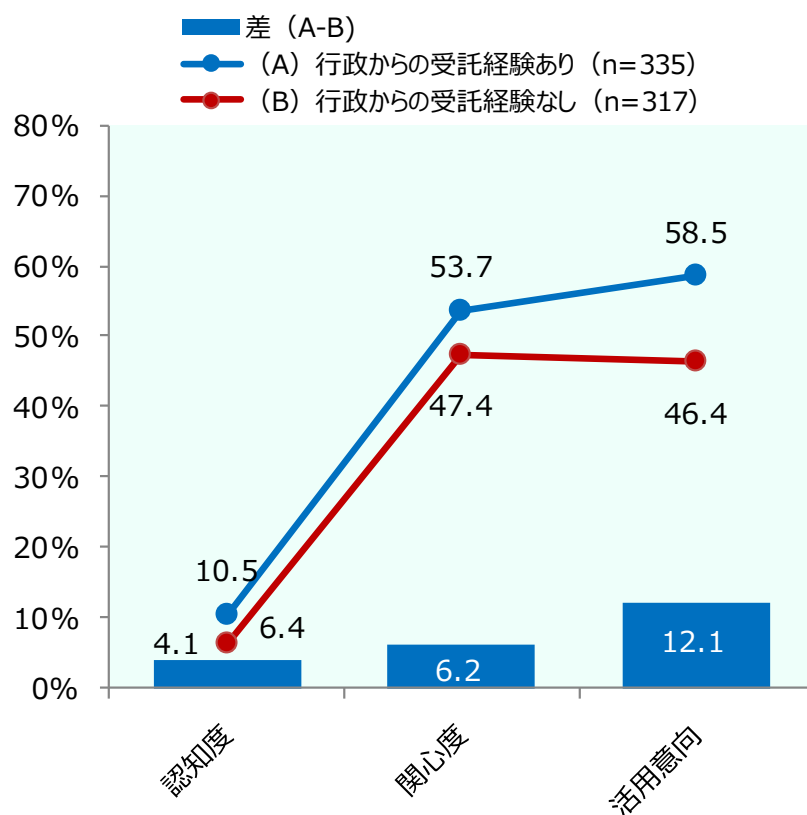
【ベース：特定非営利活動法人】

Q11 ソーシャルインパクト・ボンド（SIB）についてご存知ですか？（SA）／Q12\_1 ソーシャルインパクト・ボンド（SIB）について関心はありますか？（SA）

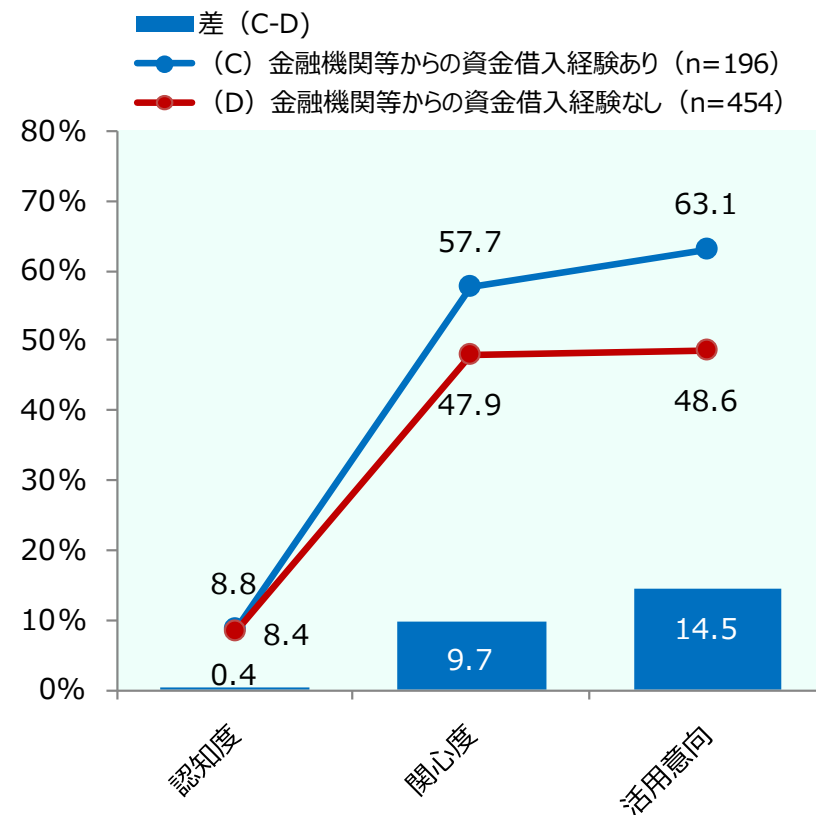
Q12\_2 仮にソーシャルインパクト・ボンド（SIB）が日本で開始された場合、貴団体は事業の拡大やミッションの実現のために、SIBを活用することに関心がありますか？（SA）

行政からの委託事業の受託経験別、および金融機関からの借入経験別で、**SIBの関心度・活用意向に差がみられる**。特に、認知度⇒関心度⇒活用意向の順で差が大きくなっており、**活用意向**では10pt以上の差が伺える。

### 行政からの受託経験別



### 金融機関等からの借入経験別



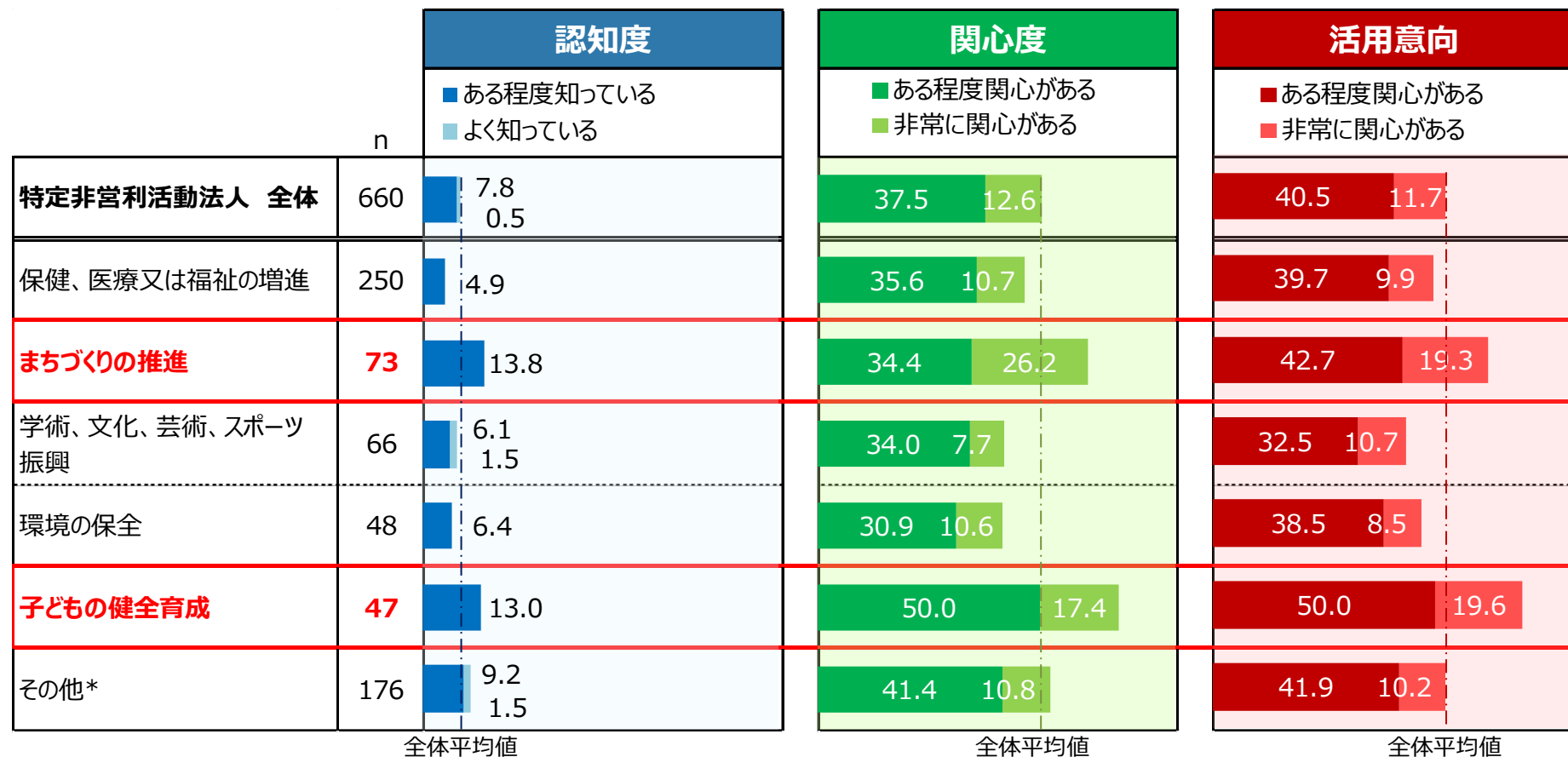
【ベース：特定非営利活動法人】

Q11 ソーシャルインパクト・ボンド（SIB）についてご存知ですか？（SA）／Q12\_1 ソーシャルインパクト・ボンド（SIB）について関心はありますか？（SA）

Q12\_2 仮にソーシャルインパクト・ボンド（SIB）が日本で開始された場合、貴団体は事業の拡大やミッションの実現のために、SIBを活用することに関心がありますか？（SA）

# SIBの認知度・関心度（NPOの活動分野別）

団体の活動分野別で認知度に大きな差は見られない。一方で、「まちづくりの推進」「子どもの健全育成」を活動分野とする団体が、関心度と活用意向において他の団体を上回っている。



【ベース：特定非営利活動法人】

※n=30未満の層は、その他に統合

Q11 ソーシャルインパクト・ボンド（SIB）についてご存知ですか？（SA）／Q12\_1 ソーシャルインパクト・ボンド（SIB）について関心はありますか？（SA）

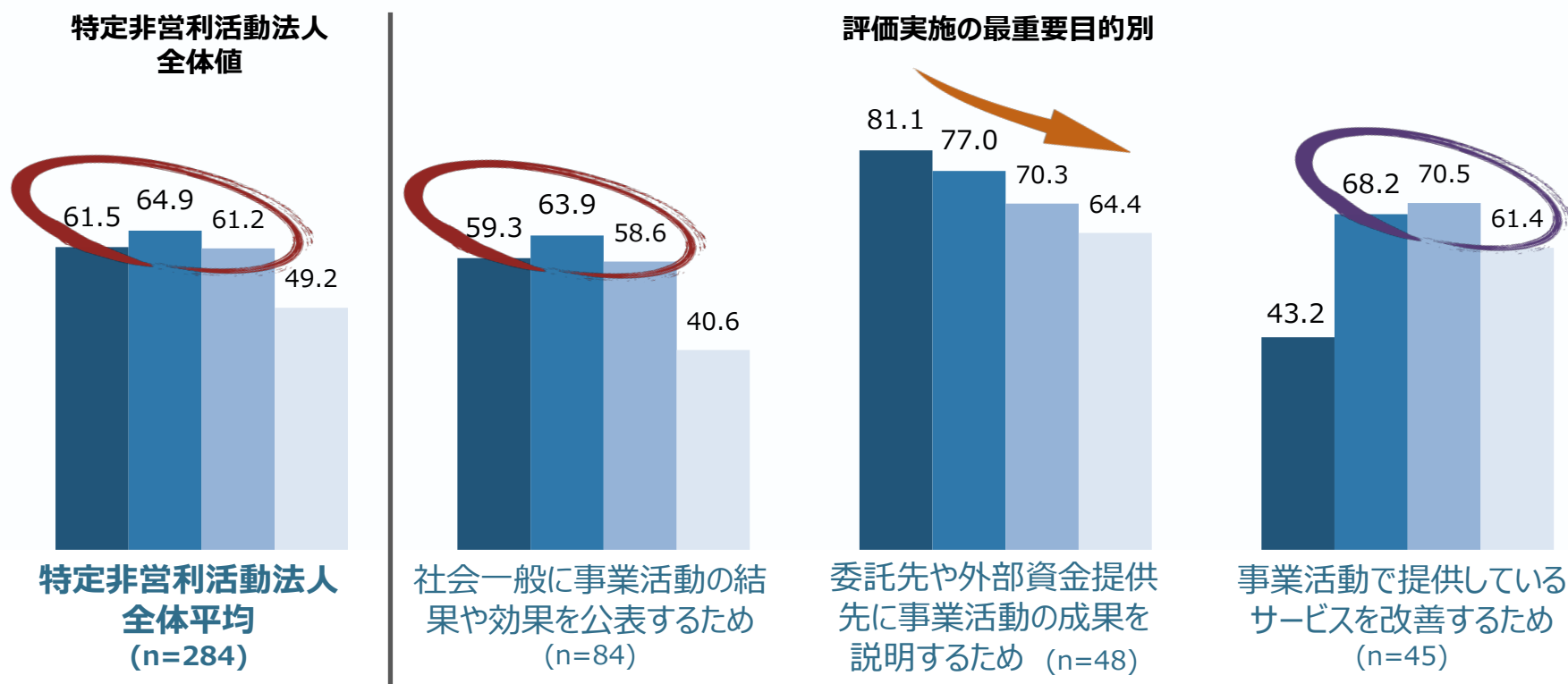
Q12\_2 仮にソーシャルインパクト・ボンド（SIB）が日本で開始された場合、貴団体は事業の拡大やミッションの実現のために、SIBを活用することに関心がありますか？（SA）

「委託先や資金提供先に事業活動の成果を説明すること」を評価の最重要目的としている団体は、全体平均と比べて、**インプット、アクティビティ、アウトプット、アウトカム**のすべてにおいて当該情報を把握している団体比率が高い。

また、**評価の実施目的によって、評価のために収集する情報の傾向に違いがみられる。**

- 事業に投入した資源（インプット）
- 事業の対象者の数（アウトプット）

- 事業の回数・規模・内容・タイミング（アクティビティ）
- 事業により対象者に生じた変化（アウトカム）



# 評価において収集する情報（ヒートマップ）

インプット、あるいはアクティビティを把握している団体のうち、アウトカムを把握している団体は各60%未満にとどまる。

アウトカムを把握している団体のうち72%が**事業対象者のニーズ**を把握しており、他層よりも比率が高くなっている。

高

低

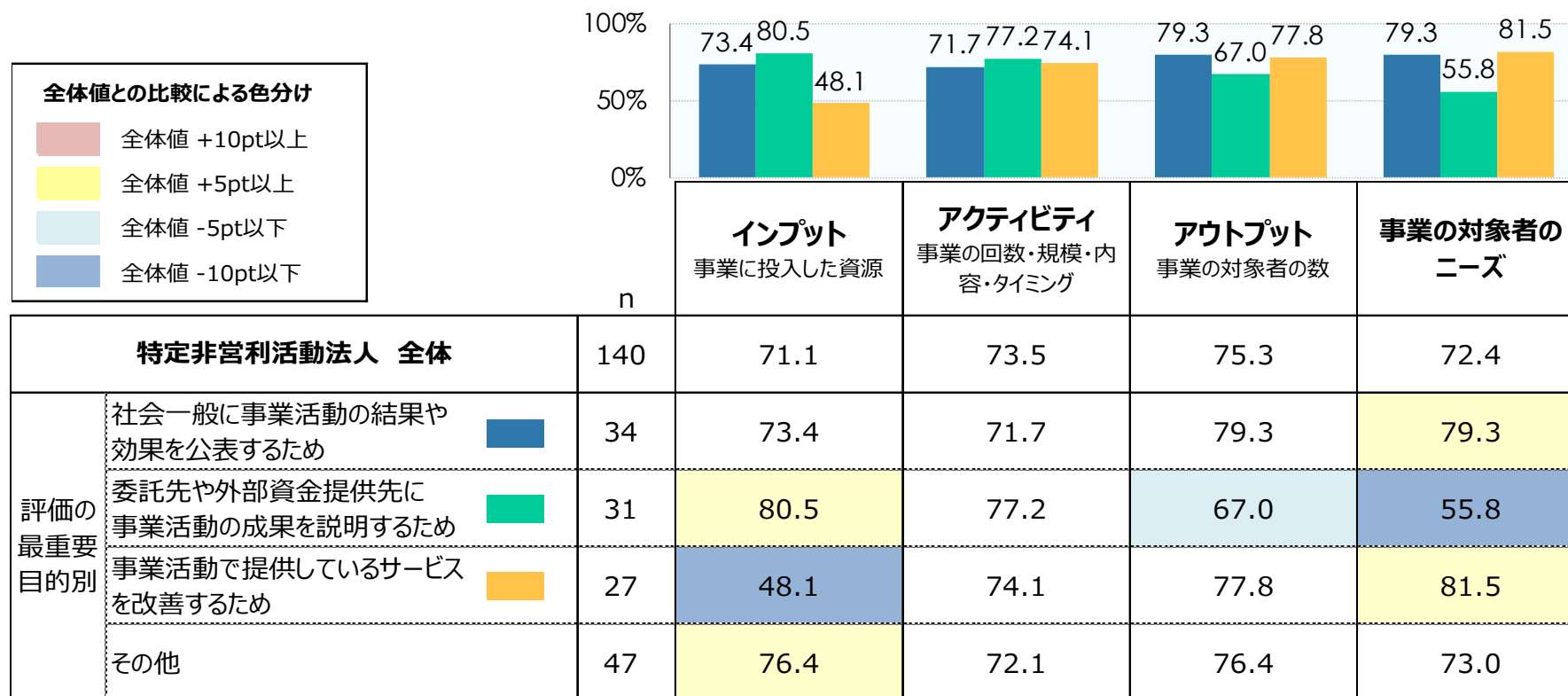
n

|                 | インプット<br>事業に投入した資源             | アクティビティ<br>事業の回数・規模・内容・タイミング | アウトプット<br>事業の対象者の数 | アウトカム<br>事業により対象者に生じた変化 | 事業の対象者のニーズ |      |
|-----------------|--------------------------------|------------------------------|--------------------|-------------------------|------------|------|
| 評価における<br>収集情報別 | インプット<br>事業に投入した資源<br>175      |                              | 77.3               | 73.5                    | 56.8       | 53.3 |
|                 | アクティビティ<br>事業の回数・規模・内容等<br>184 | 73.3                         |                    | 74.4                    | 55.8       | 55.7 |
|                 | アウトプット<br>事業の対象者の数<br>174      | 73.8                         | 78.7               |                         | 60.5       | 60.7 |
|                 | アウトカム<br>事業により対象者に生じた変化<br>140 | 71.1                         | 73.5               | 75.3                    |            | 72.4 |
|                 | 事業の対象者のニーズ<br>146              | 63.9                         | 70.4               | 72.5                    | 69.5       |      |

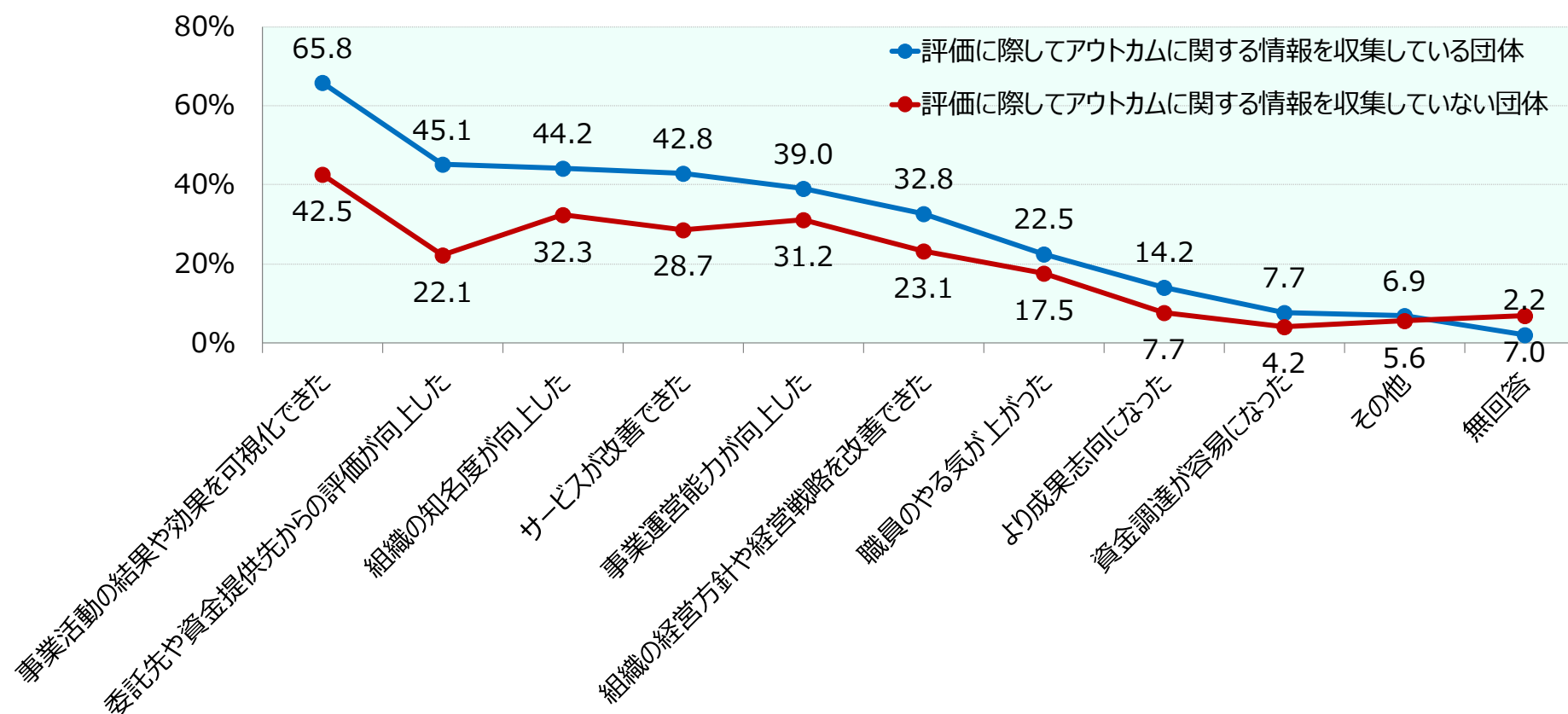


評価においてアウトカム（事業により対象者に生じた変化）を把握している団体の中で、評価の目的によって収集する情報に相違がみられるかを確認した。

- アウトカムを把握している団体の中でも、委託先等への事業成果の説明を評価の最重要目的としている団体では、**事業対象者のニーズを把握している団体は56%にとどまる**。一方で、事業活動のサービス改善、社会一般への事業活動の成果等の公表を目的とする団体では**同比率が8割程度と高い**。
- 社会一般への事業活動の成果等の公表を目的としている団体では、**下記すべての情報において当該情報を把握している団体が70%を超える**。

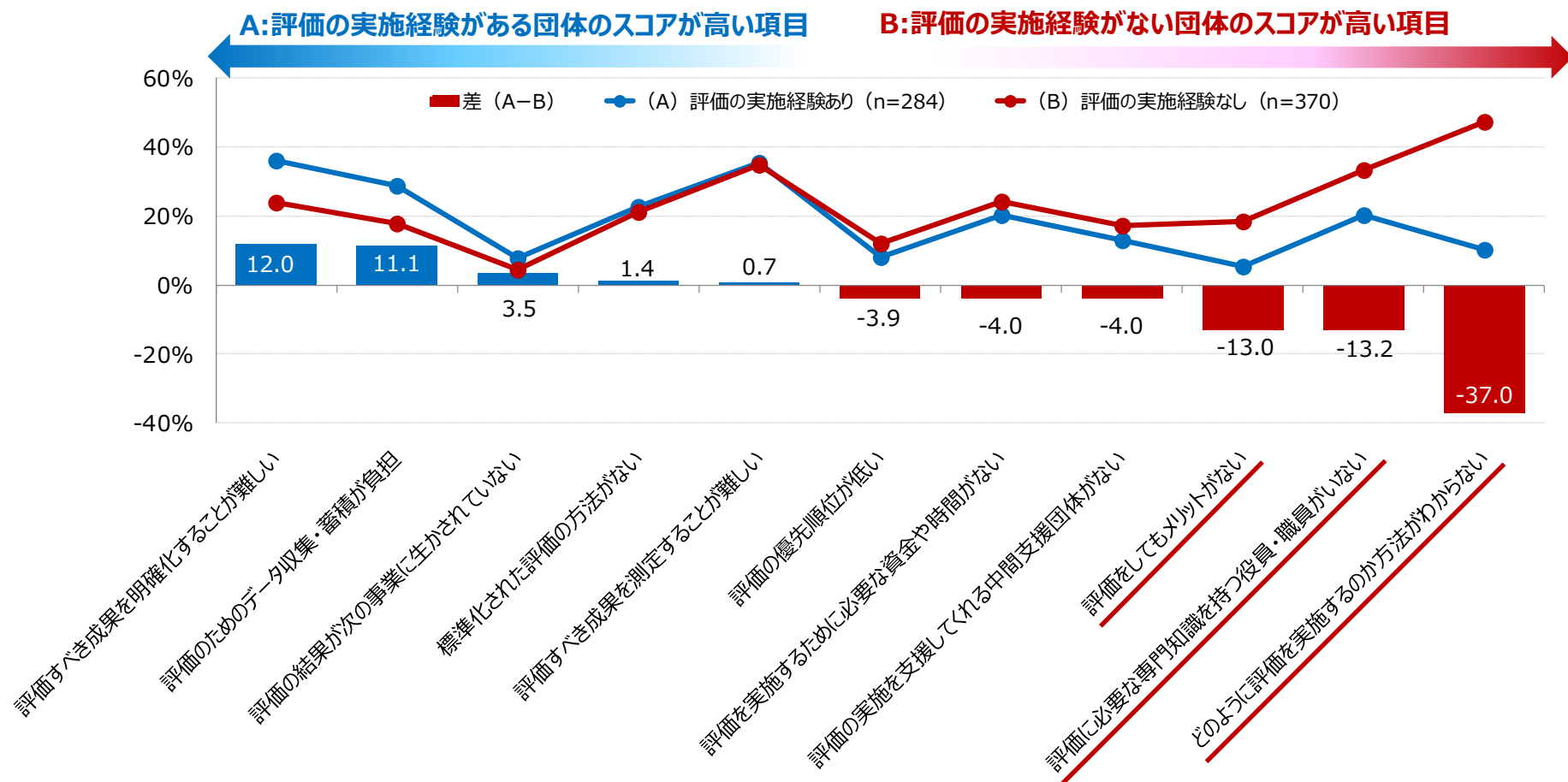


評価時にアウトカム（事業により対象者に生じた変化）に関する情報を収集していない団体に比べて、**アウトカムに関する情報を収集している団体では、下記のすべての項目で効果を実感している団体比率が高くなっている。**



# 評価実施上の課題（事業評価の実施有無別）

評価の実施経験のある団体とない団体で、評価実施上の課題に差がみられる。経験のない団体では、「**評価実施の方法がわからないこと**」「**専門知識の不足**」が特に障害となっている。さらに、経験のある団体に比べて、「**評価にメリットがない**」と考える傾向が伺える。



# 参考資料

- ・ 株式会社—運営体制・財務状況
- ・ 調査票

# 株式会社－運営体制／財務状況（参考値）

※ 株式会社の値はn=30未満のため、参考値

## 運営体制

(人)

|                    |       |
|--------------------|-------|
| 役員総数<br>(n=8)      | 7.0   |
| 報酬を得ている役員<br>(n=7) | 2.7   |
| 有給職員総数<br>(n=7)    | 281.0 |
| 正規職員*<br>(n=8)     | 345.8 |
| 非正規職員*<br>(n=8)    | 30.8  |
| その他（出向等）<br>(n=7)  | 4.1   |
| ボランティア<br>(n=6)    | 0.8   |

\*週28時間（7時間×4日）以上勤務している職員

\*\*週28時間未満勤務の職員

## 収益

(千円)

|                            |           |
|----------------------------|-----------|
| 収益合計 (n=8)                 | 1,361,774 |
| 自主事業 (n=8)                 | 559,860   |
| 認可事業 (n=8)                 | 792,901   |
| 行政からの委託事業・<br>指定管理事業 (n=8) | 6,390     |
| 民間からの委託事業<br>(n=8)         | 0         |
| 会費・寄付金 (n=8)               | 0         |
| 民間からの補助金・<br>助成金 (n=8)     | 0         |
| 行政からの補助金・<br>助成金 (n=8)     | 2,500     |
| その他（利息等）<br>(n=8)          | 122       |

## 費用

(千円)

|                 |         |
|-----------------|---------|
| 費用合計 (n=7)      | 513,240 |
| 事業費計 (n=6)      | 201,182 |
| 人件費<br>(n=5)    | 115,182 |
| その他経費<br>(n=5)  | 122,637 |
| 管理費計 (n=6)      | 53,996  |
| 人件費<br>(n=6)    | 23,797  |
| その他経費<br>(n=6)  | 30,198  |
| その他の費用<br>(n=5) | 6,650   |

Q4 2015年11月末現在の貴団体の役員・職員・ボランティアの人数についてご記入ください。（NU）

Q5 貴団体の前事業年度の年間の収益とその内訳の金額をご記入ください。特定非営利活動法人の場合は、「特定非営利活動に係る事業」についてお答えください。（NU）

Q6 貴団体の前事業年度の年間の費用とその内訳の金額をご記入ください。特定非営利活動法人の場合は、「特定非営利活動に係る事業」についてお答えください。（NU）

\* Q5・Q6の金額は千円未満で四捨五入し、千円単位で記入。ない場合は「0」と記入。



識別番号□□□□ (事務局記入)

「新たな資金調達手段と評価ニーズに関する全国 NPO・ソーシャルビジネス」アンケート調査

I 貴団体の組織の概要についておたずねします

【問1】 貴団体の主な活動分野は何ですか。 下記の該当する番号 1 つに○をつけてください。

|     |                                   |     |                                      |     |                 |
|-----|-----------------------------------|-----|--------------------------------------|-----|-----------------|
| 1.  | 保健、医療又は福祉の増進                      | 2.  | 社会教育の推進                              | 3.  | まちづくりの推進        |
| 4.  | 観光の振興                             | 5.  | 農山漁村又は中山間地域振興                        | 6.  | 学術、文化、芸術、スポーツ振興 |
| 7.  | 環境の保全                             | 8.  | 災害救援活動                               | 9.  | 地域安全活動          |
| 10. | 人権擁護又は平和の推進                       | 11. | 国際協力                                 | 12. | 男女共同参画社会の形成・推進  |
| 13. | 子どもの健全育成                          | 14. | 情報化社会の発展                             | 15. | 科学技術の振興         |
| 16. | 経済活動の活性化                          | 17. | 職業能力の開発又は雇用機会拡充                      | 18. | 消費者の保護          |
| 19. | 1～18 の活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助 | 20. | 1～19 の活動に準ずる活動として都道府県又は指定都市の条例で定める活動 | 21. | その他<br>(具体的に： ) |

【問2】 貴団体の法人格は何ですか？ 下記の該当する番号 1 つに○をつけてください。

|     |                  |     |             |     |        |     |        |
|-----|------------------|-----|-------------|-----|--------|-----|--------|
| 1.  | 特定非営利活動法人        | 2.  | 認定特定非営利活動法人 | 3.  | 一般社団法人 | 4.  | 一般財団法人 |
| 5.  | 公益社団法人           | 6.  | 公益財団法人      | 7.  | 社会福祉法人 | 8.  | 学校法人   |
| 9.  | 農業法人             | 10. | 中小企業等協同組合   | 11. | 農業協同組合 | 12. | 生活協同組合 |
| 13. | 協同組合 (10～12 以外)  | 14. | 株式会社        | 15. | 有限会社   | 16. | 合同会社   |
| 17. | その他の法人格 (具体的に： ) |     |             |     |        | 18. | 任意団体   |

【問3】 貴団体を設立して何年が経過しますか？法人格をお持ちの団体は法人設立年を基準に、お持ちでない団体は団体設立年を基準に、下記の該当する番号 1 つに○をつけてください。

|     |              |     |                     |    |             |
|-----|--------------|-----|---------------------|----|-------------|
| 1.  | 1 年未満        | 2.  | 1 年以上 2 年未満         | 3. | 2 年以上 3 年未満 |
| 4.  | 3 年以上 4 年未満  | 5.  | 4 年以上 5 年未満         | 6. | 5 年以上 6 年未満 |
| 7.  | 6 年以上 7 年未満  | 8.  | 7 年以上 8 年未満         | 9. | 8 年以上 9 年未満 |
| 10. | 9 年以上 10 年未満 | 11. | 10 年以上 (具体的に： 年 カ月) |    |             |

II 貴団体の運営体制と財務状況についておたずねします

【問 4】 2015 年 11 月末現在の貴団体の役員・職員・ボランティアの人数についてご記入ください。

|        |                  | 定義                               | 人数 |
|--------|------------------|----------------------------------|----|
| 役員     | 総数               | 理事長、理事、取締役、監事、監査役など役員名簿に記載されている者 | 人  |
|        | 上記のうち役員報酬を得ている役員 |                                  | 人  |
| 有給職員   | 総数               | 賃金という対価を得て働く者                    | 人  |
|        | うち正規職員           | 週 28 時間（7 時間×4 日）以上勤務している職員      | 人  |
|        | うち非正規職員          | 週 28 時間未満勤務の職員                   | 人  |
|        | その他（出向等）         | 具体的に：                            | 人  |
| ボランティア |                  | 有償（必要経費の支給等）又は無償で参加している者         | 人  |

【問 5】 貴団体の前事業年度の年間収入とその内訳の金額をご記入ください。特定非営利活動法人の場合は、「特定非営利活動に係る事業」についてお答えください。

\*金額は千円未満で四捨五入し、千円単位でご記入ください。ない場合は「0」とご記入ください。

| 収入の部 |                       | 金額（単位：千円） |
|------|-----------------------|-----------|
| 1.   | 会費・寄付金収入              | 千円        |
| 2.   | 民間からの補助金・助成金収入        | 千円        |
| 3.   | 行政からの補助金・助成金収入        | 千円        |
| 4.   | 認可事業（介護保険事業、支援事業費等）収入 | 千円        |
| 5.   | 行政からの委託事業・指定管理事業収入    | 千円        |
| 6.   | 民間からの委託事業収入           | 千円        |
| 7.   | 自主事業収入                | 千円        |
| 8.   | その他の収入(利息等)           | 千円        |
| 9.   | 収入合計（1～8 の合計）         | 千円        |

注）「借入金」につきましては収入に含めず、問 8 以降でお答えください。







【問 10】 貴団体の資金調達の特徴として、下記の最も該当する番号 1 つに○をつけてください。

1. 収益事業中心の組織であるが、収益事業は自主事業中心である
2. 収益事業中心の組織であるが、収益事業は行政からの委託や、認可事業又は指定管理が中心である
3. 寄付金・会費又は補助金中心の組織である
4. 多様な財源を獲得しているが、収益事業による収入が多い
5. 多様な財源を獲得しているが、寄付金・会費又は補助金による収入が多い

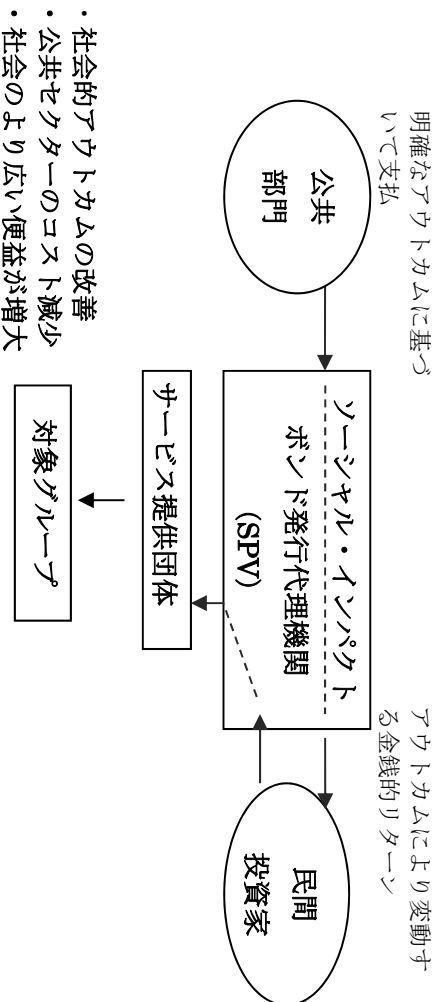
#### IV 新たな資金調達手段へのニーズについておたずねします

【問 11】 ソーシャルインパクト・ボンド (SIB) についてご存知ですか？ 下記の該当する番号 1 つに○をつけてください (SIB については、下記の囲みの解説を参照)。

1. 全く知らない
2. ほとんど知らない
3. ある程度知っている
4. よく知っている

【解説】 ソーシャルインパクト・ボンド (SIB) とは、問題を抱えた人々への予防・介入活動のための社会的プログラムの活動資金を公金 (税金) からではなく、民間の投資資金から調達し、サービス実施は NPO 等が担い、行政はプログラムが成功した場合にのみ、投資家にリターンを支払うという官民連携プログラム。

SIB は英国で初めて導入されたが、無業者や生活保護受給者の就労・自立促進、貧困家庭の子供の学習支援、高齢者の健康促進等、様々な社会的プログラムに導入されている。政府にとっては革新的な予防・介入プログラムにより財政コストが削減でき、また期待された成果が実現した場合にのみ、投資家に対してリターンを支払えばよいというメリット、サービス実施を担う NPO には、3 年、5 年など、複数年度に渡り事業を実施でき、前払いで活動資金が獲得できるなどのメリットがある。また、NPO にとっては期待された水準の成果があげればよく、モニタリングや評価は受けるが、委託事業よりも事業の柔軟度や裁量性は高い。



【問 12-1】ソーシャルインパクト・ボンドについて関心はありますか？ 下記の該当する番号 1 つに○をつけてください。

1. 全く関心はない      2. ほとんど関心がない      ⇒ 1. 2. にご回答の方は問 13 にお進みください  
3. ある程度関心がある      4. 非常に関心がある

【問 12-2】仮にソーシャルインパクト・ボンド (SIB) が日本で開始された場合、貴団体は事業の拡大やミッションの実現のために、SIB を活用することに関心がありますか？下記の該当する番号 1 つに○をつけてください。

1. 全く関心はない      2. ほとんど関心がない      3. ある程度関心がある      4. 非常に関心がある

V 評価についておたずねします

【問 13】貴団体は、事業活動の全部又は一部について、評価を実施したり、評価を受けたりしたことはありますか？ 下記の該当する番号 1 つに○をつけてください。

1. ない      ⇒ 問 18 にお進みください      2. ある

【問 14】評価の実施主体について、下記の該当する番号すべてに○をつけてください。

|    |                 |    |                                  |
|----|-----------------|----|----------------------------------|
| 1. | 団体による自己評価       | 2. | 資金提供者による評価                       |
| 3. | 資金提供者と団体による相互評価 | 4. | 監督機関による評価                        |
| 5. | 第三者機関による評価      | 6. | その他（具体的に：                      ） |

【問 15】評価をするために、どのような情報の情報を収集していますか。下記の該当する番号すべてに○をつけてください。

|    |                     |    |                             |
|----|---------------------|----|-----------------------------|
| 1. | 事業に投入した資源（人員、資金、物品） | 2. | 事業の回数・規模・内容・タイミング           |
| 3. | 事業の対象者の数            | 4. | 事業の対象者のニーズ                  |
| 5. | 事業により対象者に生じた変化の程度   | 6. | 事業により対象者に生じた変化の内容           |
| 7. | 事業により対象者に生じた変化の期間   | 8. | その他（                      ） |

【問 16】 評価をどのような目的で実施していますか？ 最も重要な目的については、下記の該当する番号 1 つに○を、その他重要な目的については、該当する番号すべてに○をつけてください。

| 評価を実施する目的 |                             | 最も重要な目的<br>(○は 1 つ) | その他重要な目的<br>(○は複数可) |
|-----------|-----------------------------|---------------------|---------------------|
| 1.        | 社会一般に事業活動の結果や効果を公表するため      |                     |                     |
| 2.        | 委託先や外部資金提供先に事業活動の成果を説明するため  |                     |                     |
| 3.        | 資金調達を容易にするため                |                     |                     |
| 4.        | 事業関係者（連携先等）から広く参画・協力を得るため   |                     |                     |
| 5.        | 事業活動で提供しているサービスを改善するため      |                     |                     |
| 6.        | 事業活動の結果や効果を可視化するため          |                     |                     |
| 7.        | 組織の経営方針や経営戦略を改善するため         |                     |                     |
| 8.        | 職員のやる気を上げるため                |                     |                     |
| 9.        | その他（                      ） |                     |                     |

【問 17】 評価を実施したことで、どのような効果がありましたか。下記の該当する番号すべてに○をつけてください。

|    |                     |     |                                  |
|----|---------------------|-----|----------------------------------|
| 1. | 組織の知名度が向上した         | 2.  | 事業活動の結果や効果を可視化できた                |
| 3. | 委託先や資金提供先からの評価が向上した | 4.  | 資金調達が容易になった                      |
| 5. | サービスが改善できた          | 6.  | 組織の経営方針や経営戦略を改善できた               |
| 7. | 事業運営能力が向上した         | 8.  | 職員のやる気が上がった                      |
| 9. | より成果志向になった          | 10. | その他（具体的に：                      ） |

【問 18】 評価をする上で、どのような課題がありますか。下記の該当する番号すべてに○をつけてください。

|     |                         |     |                             |
|-----|-------------------------|-----|-----------------------------|
| 1.  | どのように評価を実施するか方法がわからない   | 2   | 評価に必要な専門知識を持つ役員・職員がいらない     |
| 3.  | 評価の実施を支援してくれる中間支援団体がいない | 4.  | 評価すべき成果を明確化することが難しい         |
| 5.  | 評価すべき成果を測定することが難しい      | 6.  | 評価を実施するために必要な資金や時間がない       |
| 7.  | 評価のためのデータ収集・蓄積が負担       | 8.  | 評価の優先順位が低い                  |
| 9.  | 評価の結果が次の事業に生かされていない     | 10. | 評価にしてもメリットがない               |
| 11. | 標準化された評価の方法がない          | 12. | その他（                      ） |

**\* (1) ヒアリング調査へのご協力について**

いただいたアンケート回答結果をもとに、後日、より詳細に内容をお伺いするヒアリング調査をお願いする可能性があります。インタビュー調査にご協力いただける方につきましては、下記に○をつけ、ご連絡先をご記入ください。なお、ご希望されない方は、ご連絡先をご記入いただく必要はございません。

1. インタビュー調査に協力してもよい ⇒下記にご記入ください      2. 協力できない

**【ご連絡先】**

|       |  |  |
|-------|--|--|
| 貴団体名  |  |  |
| ご回答者名 |  |  |
| ご住所   |  |  |
| お電話番号 |  |  |
| Email |  |  |

**\* (2) 調査レポートの希望について**

・本調査結果は調査レポートとして公表する予定です。調査レポートを希望される方は、下記にメールアドレス又は郵送先をご記入ください。メールアドレスをお持ちの方には、EメールにてPDF版でお送りします。

1. 希望する⇒下記にご記入ください      2. 希望しない

|                |    |                   |
|----------------|----|-------------------|
| ご回答者または<br>団体名 | 1. |                   |
|                | 2. | 上記 1 と同一 (番号に○)   |
| Email          | 1. |                   |
|                | 2. | 上記 (1) と同一 (番号に○) |
| 郵送先住所          | 1. |                   |
|                | 2. | 上記 (1) と同一 (番号に○) |

アンケートは以上です。お忙しい中、ご協力どうもありがとうございました。

文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「インパクト投資活用による  
社会的企業の公共サービス改善効果に関する研究」

【非営利・公共経営研究 調査研究シリーズ No.34】

新たな資金調達手段と評価ニーズに関する  
全国 NPO・ソーシャルビジネス調査ソーシャルビジネスと社会的インパクト投資  
に関する自治体アンケート調査(2015 年度調査結果報告書)

2017 年 1 月 31 日発行

監修：塚本一郎

執筆：吉岡貴之、西岡俊輔

データ整理：丹治博司

ISSN 1883-6755